物産雑説

果物四 将乙

十三乙

大正八年一月十三日 雑記整頓所
出来ノ成功ヲ書留メタル一冊ヲ増シ
雑誌従前ノ冊ヘ加ヘシトキ假ニ番
ヲ十三乙トシタリ
田中芳男記

東京帝國大學圖書印

B 45224

A00
5764

男爵田中美津男氏寄贈
先代田中芳男男旧蔵書
昭和七年

東京大学総合図書館

明治二十三年十二月九日　日曜日　時事新報　第五千七

○柿の話

●種子は八個を定則とす●

時節柄柿の話をものすべし柿は柿樹葉に屬し喬木及び灌木のものあり其葉は枝に互生して楓の如く切目なく花は壺様をなして其色白及び淡黄のものあり一樹に雌雄花を持つものあれども其多くは各々其樹を異にするを例とす而して雌雄花共に雄蘂を有すれども雌花は雄花の如く其効用をなさず故に學者は之を假雄蘂と稱す然れども其用をなさゞる替りに此房と稱するものありて中には八個の穴を有す之を此室と云ふ此室の中に八個の種あり而して前記此房は熟したる後即ち柿實となるべき物にして此室の中の八個の種は即ち種子なり種子の此室の中に在る時は上部より下垂するものなり吾人が此柿菓を食するに當り八個あるべき種子の二個若くは三個の不足を認むるは發生中腐蝕したる者と知るべし左れは柿の種子は八個を以て定則とするものにて時には之より少なきはあれども多數を有するは極めて稀れなり

●種類と産地●

柿の種類は其數一萬以上と稱せらるれども這は單に其形状及び産地の異なるによりて其名稱を異にする迄にして其實地球上に於ける純粹の種類は六屬二百五十種なりとす其重なる産地を擧ぐれば性質として決して北極の地に産する事なく先づ東印度を中心となし次は亞弗利加、墺太利亞次は北米墨其哥次は西印度次は南米ブラジル嶋を多しとす而して日本に於ける柿は學問上只柿と豆柿との二種あるに過ぎざれども前項記す如く其形状、産地及び澁きもの、甘きもの、食せざるもの、食するもの等によりて各々名稱を有し一名稱は頓て一の種類として認められたれば其數殆んど二百餘種に上るほどゝなれり今此二百餘種中重なる者の二三を掲ぐれば五所柿、にたり柿、御室柿、ちよぼ柿、團座柿、筆柿、平木練、木練、美濃柿、西城柿、あらさ柿、千なり柿八王子柿、平柿、蜂柿等にして五所柿は一名あるり柿或は大和柿と云ひ大和の五所に産するを以て此の名あり其後五所の名五瀬と變りたるより更に五瀬柿とも云ふ形扁たく大にして四條の筋溝あり始め緑色なる時は澁味あれども熟するに随がひ味はひ甘しにたる●柿は五所柿に似て肥滿すれども扁ならず味亦五所柿より佳し御室柿一名をスキトホリとも云ふ熟すれば黄色となる京都御室の地に産するものを以て最も有名とす皮を剥けば白砂糖の如き粉あり其味ひ極めて上品なりちよぼ柿一名をチヨボイ、チヨボリともいふ形小にして熟すれば赤色となるえんご柿一名を蓮華柿とも云ふ蒂の蓮華の如くなるより斯くは名けたるなりと筆柿頭尖りて筆頭の如し青き時より澁味多く食するに堪へず平木練は大和柿の一種なれども筆柿の如く澁味あり木練形卵の如く攝津丹波にあし美濃柿は澁柿の最大なるものにて吊し柿として美濃の名産なり西城柿紀州の産にして其名最も高く昔し時の將軍に献じて褒詞を受けしことありと云ひ傳へりあらさは澁柿の一種にして樽柿となすべし千なり柿澁柿の形小なるものにて其枝に實る事千なり瓢箪の如く之を干したるものをコロ柿と云ふ山城宇治の名産なり八王子柿八百屋柿及び八ツ溝柿とも云ふ竪に八個の凹あり此外別に信濃柿なるものあり熟して黄色となれども味ひなし其形小なるを以て皮と共に干柿となす又豆柿と稱する者あり其形正圓にして熟すれば黄色となり枝に集り付くこと葡萄の如し常盤柿は紀州の深山に自生する者にして四時共に葉あり其葉の形豆柿に似て稍々小さく且つ厚く二年を經るも尚は落ちず實は其莖の元に結び其形又豆柿に似て小さく熟して黒色となる

以上は日本に於ける柿の顯著なるものとす

●琉球と臺灣の柿●

琉球に二種の柿屬あり其一は通常の柿なれども他の一は黒檀屬の種類あり此黒檀を琉球にては黒木と稱し那覇に最も多く人家の庭園等に於て見るべし五月頃小さき花を開く葉は細そ長くしてツゲの葉の如く春夏秋冬落葉することなし此外八重山、久米嶋等に産する黒木あり葉も前のより稍々大にして實も内地の澁柿の如く熟して黄色となる土人は此柿を呼びて「カバー」「クルボー」など稱す其語る所によれば此柿は劇甚たる有毒性の物なれば決して食ふべからずと又臺灣に三種の柿屬あり一は毛柿と云ひ葉は非常に大きく内地の譲り葉

して實は食すべく葉は林檎に似たりと説明し柿の種類として柿、杮の柿、きねり柿、しな柿の四種を記せりといふ擬て前記の如くケンフル氏が柿を以て無花菓なりと云ひたるは當時は勿論今日に於ても地中海の船付嶋にて無花菓を賣りに來る船あり其無花菓の形日本の柿に似寄りたるより斯くは誤りたるものなる

柿の分析

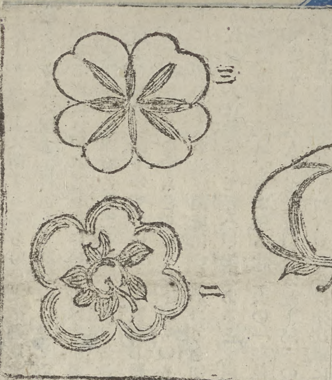
東京衛生試驗所に於て柿實を分析したる結果によれば左の如し

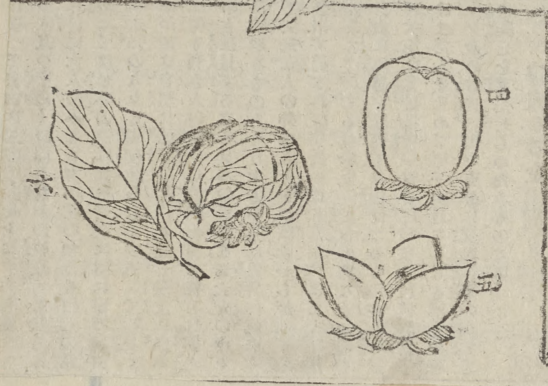
	蛋白質	脂肪	無窒素有機物	植物纖維	灰	水	合計
乾柿	一.四四	〇.三三	六〇.二三	四.〇〇	一.七七	三一.四九	一〇〇
樽抜	〇.五八	〇.〇四	一三.五六	二.七六	〇.四三	八二.六三	一〇〇
キザハシ	〇.六一	〇.〇三	一三.六二	三.二九	〇.四三	八二.〇三	一〇〇

右乾柿の分無窒素有機物中には二一、五四の葡萄糖ありとなり

圖解

圖は日本に於ける重なる柿の種類にして(一)は五所柿(二)は扁柿(三)は扁柿を中斷したるもの(四)ははふの(五)ははふの一種(六)は畫柿(七)はさる柿(八)は豆柿(九)は常盤柿なり





柿の歴史

柿の效用

東京大学総合図書館

の如く而かも四季共に落葉せず樹は採りて用材に供せらる一は內地の信濃柹に似て小さき實を結び實の尖頭に毛あり食すべからず臺灣語にて之をオッワヤーと稱す一は從來內地にも產する者にして常盤柹の稱あり即ち紀州の深山に自生する者にして葉の間に實を結び形は柹に似て小さく熟して黑色となる由は前項既に述べたるが如し昔し支那より渡來したる者なりとぞ其實は食ふべからず

柹屬の性質

總して菓物は其種類の如何に論なく其性種子を造りて子孫を繁殖せしむるを主眼とす故に其種類により種々の物質を以て種子を保護し又雜多の方法によりて繁殖の道を開き或は風に飛び水に流れて散布し或は甘き液汁を含める肉を以て種子を包み動物に食はれ其腸內を潜りて糞と共に再び放逸され玆に萌を發するに至る柹屬の如きは即ち後者に屬する者とす左れば斯る種屬に取りては其熟せざる以前即ち實の尚は青き時に於て人或は動物の爲めに掴取らるゝは其性質に反くのみならず樹にも非常の害を及ぼすが故に此外襲を防がんが爲めに其肉を堅くし且つ澁味を持たして自己を保護すれども其漸く熟して種子の完全なるに及びては他動物の來り食はんことを願ひ當に其外部を彩りて遠方より容易に認目し得べからしむるのみならず其肉を甘美にして取り食ふ者の口に媚ぶ之に反して栗の如きは實その物が種子なれば他動物に食はれざるを以て其目的とし實を包むに鋭きトゲを以てし更に堅牢なる皮を被ひて外物の侵害を防ぐものとす

成熟の作用

柹の成熟したる時は外部を彩り且つ澁き味の甘くなる作用を記さんに外部の赤色を呈するは全く日光の作用による事は何人も能く知る所なるべし而して其最初澁味を有するは丹寧即ちフシの類を多量に含むが故にして頓て甘味に變ずるは其熟するに隨ひて丹寧消滅し之と同時に砂糖の生ずるが故なり但し丹寧の滅ずると砂糖の生ずる其間の作用は學者の多年研究したる所なれども今に尚ほ其說を得ず只以前は丹寧その物が柹の熟するに隨ひて直ちに砂糖に變化するとの說ありしも今日に於ては丹寧と砂糖と更に何等の關係をも有せ[illegible]

柹の效用

世界中に於ける柹の効用を記さんに其多くは用材に供せらるゝものなり黑檀は即ち柹の種類にして現に世界に於て黑檀の種類十八種ありと云ふ而して黑檀は世界到る所に備用せられビルマにては此黑檀を以て舖を造り其實[illegible]

(劇甚なる有毒性のもの)は藥用に供せらるゝとぞ又ブラヂルにて產する柹も有毒性なるを以て之を川中に投じて魚類を捕ふるの資となしフレンチゲニヤにては一種の柹の皮にて藥を作り熱病に用ひて効驗著しとか總して其澁は澁汁を製するに適し又日本にては古來澁柹の澁汁を塗りて傷の出血を止め且つ其傷を治するに效驗ありと稱せられたり其他尚は柹實の効用特徵に關し序ながら二三の俗說を左に掲ぐ

一聲の枯れたる人柹を食すれば癒ゆ
一便通の惡しきものは食すべからず
一柹と蟹と同時に食すべからず腹痛下痢を起すべし
一古書に柹を中央より橫斷して臍に當て酒を飲む時は連日醉ふ事なしとあり俗に柹は醉を醒すと云ふは之と同一の意義なるべし要するに柹は胃腸を冷やすものなれば斯く稱へしなるべし
一柹の蒂はシャクリを直すに妙なり
一柹の皮を干してダシとすれば鰹節に劣らずとて古は寺僧の食料となり居れりとぞ
一柹の種子を黑燒となし米飯と共に練れば靴に塗りて妙なり

柹の歷史

柹は古より人に知られたる者の如く深江輔任の本草和名にも柹の事を記し著聞集には

霜枯ける上ねりの柹は自から
含めは消ゆるものにぞありける

と云へる歌さへ詠まれたり又支那には柹に就て左の七絶あり

多壽、多陰、無鳥巢、無蟲蠹、霜葉可翫、
力實、落葉、肥滑可以臨書

又日本の柹を西洋人に知られたるは元祿六年ケンフル氏が長崎に來りたる時を以て始めとすべし同人(獨逸人)は歸國の後即ち我寶永二年に於て著はしたる本草書に柹の事を記したるを見るにラテン語にて柹と書し且つ庭に植ゆる無花菓にして實は食すべく葉は林檎に似たりと說明し柹の種類として柹、たの柹、きねり柹、しな柹の四種を記せりといふ擬て前記の如くケンフル氏が柹を以て無花菓なりと云ひたるは當時は勿論今日に於ても地中海の船付嶋にて無花菓を賣りに來る船あり其無花菓の形日本の柹に似寄りたるより斯くは誤りたるものなる

柹の分析

東京衛生試驗所に於て柹實を分析したる結果によれば左の如し

	蛋白質	脂肪	無窒素有機物	植物纖維	灰	水	合計
乾柹	一、五四	〇、三一	六一、三三	四、〇〇	一、七三	三一、〇九	一〇〇
樽拔	〇、五八	〇、一二	一三、五六	二、六六	〇、四三	八二、六五	一〇〇
キザハシ	〇、六一	〇、〇二	一五、六二	三、二九	〇、四三	八〇、〇三	一〇〇

右乾柹の分無窒素有機物中には二一、五四の葡萄糖ありとなり

[illegible]

No. 62

Connectiv.

Die natürlichen Pflanzenfamilien, von A. Engler u. K. Prantl.
IV. Teil. 1. Abteilung,
Ebenaceae von M. Gürke.

4. Diospyros Dalech.
(Cargillia R. Br., Leucoxylum Blume, Noltia Schum., Gunisanthus A. DC., Rospidios A. DC.)

花三乃至七数ヲ有シ又ハ乃至五数、萼ハ果時ニ於テ屢増大ス 花冠ハ鐘状、瓶子状又ハ筒状、[雄花] 葯ハ乃至無数 通常十六、花絲莖多クハ列ヲナシ二個乃至数個結合シテ一対トナレルヲ以テ内方ノモノハ外方ニ比シテ多クハ短シ 葯ハ長形、線状又ハ披針状、多ク球状ヲナス 側部ニ縦裂シ又ハ稀ニ頂部ニ裂口ヲナス 葯隔ハ屢上部ニ延長ス

子房瑞花ニ多ク含メリ

【雌花】子房ハ花ノ基ニアリテ、子房ハ花ヨリ長ク個

通常八個ノ雌蘂ヲ六個、此ノ長サ三段アリテ雄蘂ヲ保チ

(Corolla) 即チ花冠二個、第二ハ茸状球形、一方ニ十個ノ孔

アリ此孔ヨリ式一種ノ液ヲ分泌シ蜜ヲ造ル、

此花ハ温帯ニ属シ種子ハ球形ニ〔illegible〕

ニテ種子ハ〔illegible〕

内田製

東京大学総合図書館

三十六年六月[illegible] 調

柳ノ花

沙漠及御苑ノ柳樹ニ付テ調査スルニ 沙漠柳樹 五株ノ内 二株ハ
両全花 三株ハ 両全花及雌花ヲ着ス 其内一株ハ 一枝ニ両全
花ヲ 他ノ枝ニハ雌花アリ 御苑ノ柳樹ハ 青山ヨリ来リシ木ニ就テハ
両全花及雌花アリ 他ハ皆両全花ノミナリ 即 麻布山、牛込、白金、深川等

両全花

一 沙漠ノ分ハ 雄蕊八個 花ノ背面ニ覆ヘル葉 雄蕊ハ大ニシテ内方ニ向テ下ニアリ 子房ハ八重 柱頭四裂シ 又柱頭ハ二裂スル最多
一 〃 ノ二ハ 雄蕊四個 其ノ十二個アリ 即チ花ノ下ニ一個 花ノ中部ニ二個 或ハ三個 或ハ一個 他ニ二個ヲ着ス(背ノ方ニ二個アリ) 外ニ十個アリ 三個アリ 或ハ十五個 或ハ七個
一 御苑ノ分ハ 全ク之ハ之ヲ除ク

両全花及雌花
其十二ヶ両全花及雌花ト相接シテ其ノ雌花ハ雌花出シテ居ル 其雌花ハ両全花ナリ
一 両全花ハ 前同様 雄蕊ノ数ハ 八個 外ニ五個 内二個 一ヶ所ニ見ユ 即チ之ハ雌種ノ方ナリ
一 雌花ハ 内外二個アリ 一ツハ 外方ノ大ナリ 即八対アリ 也
是ハ花本ノ部柳ノ方ナリ

hairs on the inside below the fruit. Flesh of the fruit astringent.

Naturalized in the countries on the shores of the Mediterranean Russia in Asia, Pallas, called Kurma by the Persians, Churma Karà-churma in Tartary, Dikoi Phenik in Astracan; Asia Zohrab!; Turkey in Asia, Lazistan, near Rhize, spontaneous, n. 1464; Caucasus; China, Hance! n. 13753, Canton; Pekin Bunge; Tsing Yune Pass, along North River, about 120 miles from Hance; Affghanistan, Griffith! n. 1289; N.W. India, common on Hazārā from 3000-6000 ft. alt., male plant called Awalade female Amlok, Dr. Stewart! n. 424; Tsu-sima Island, Straits Wilford!; Japan, Nagasaki; Oldham! n. 529. called Sinan

雄蘂ハ離生

一子房ノ 両全花ニ 雄花 雌花

両全花 雄蘂ハ何外ニ五個

雄花 柱頭全ク化シ雌蘂ナシ

紫ナルモ

一子房ハ 柱頭全シ

紫ナルモ

内田製

東京大学総合図書館

(a monograph of Ebenaceae)

W. P. Hiern on Ebenaceae. 1873. p. 153

§ X. Dangleria.

[..]ry 4 celled 94. D. Morrisiana.

[..]ry 8 celled

Flowers 1–4 together (or rarely panicled), or stamens not glabrous.

Flowers surrounded at base by 5–6 imbricated bracts nearly as long as the calyx. 95. D. squamosa.

Bracts not enveloping the calyx.

Corolla fleshy. 96. D. comorensis.

Corolla not fleshy.

Calyx-lobes deltoid or rounded.

Corolla glabrous or nearly so 97. D. montana

Corolla hairy outside. 98. D. Zollingeri.

Calyx-lobes ovate or lanceolate.

Stamens hairy

Flowers pubescent outside.

Leaves ciliate; calyx-lobe obtuse. 99. D. ciliata

Leaves not ciliate; calyx-lobes lanceolate.

Flowers sessile or subsessile.

Fruit $\frac{1}{2}$–$\frac{2}{3}$ in. in diameter. 100. D. Lotus.

Fruit 1–$1\frac{1}{3}$ in. in diameter 101. D virginiana

Flowers shortly pedunculate 102. D. [illegible]

仙邑
古柳
名未得
四環男
梅窗嫂
味之
如舟

(Engler + Prantl, Pflanzenfamilien.)
Ebenaceae

1. Royena L. Bl. meist 5,- selten 4—7 zählig. Kelch glocken- oder krugförmig,
ach der Blutezeit meist sich vergrößernd. Abschnitte der Blkr. in der Knospenlage
chts gedreht. Stb. 8–14; meist 10, gewöhnlich je 2 vor jedem Abschnitt der Blkr.,
sehr kurz, A. lanzettlich, mit seitlichen Längsspalten aufspringend. Frkn. 4
10-facherig, in jedem Fache 1 Sa. Gr. 2-5teilig oder 2–5 getrennte Gr. Fr lederartig,
ndlich oder eiförmig, manchmal mit Klappen aufspringend. Nährgewebe nicht
klüftet. – Sträucher oder Bäume mit ~~Klap~~ abwechselnden, ganzrandigen,
urzgestiellen oder seltener sitzenden, immergrünen B. und achselständigen,
tielten, einzelnen, selten in 2–5 blütigen Trugdolden stehenden Bl.
13 Arten, meist auf Südafrika beschränkt, nur 2 Arten den Wendekreis über-
schreitend. – A. Bl. 5-(selten bis 7) Zählig. Fr. nicht drüsig. – Aa. Kelch kurz, 5
ähnig. R. lucida L., ein 2–4 m hoher Baum von Kapstadt ostwarts bis Natal; Kelch
nach der Blutezeit sehr vergrössert, Gr. 2 teilig (Fig. 84 A–E). – Ab. Kelch bis zur
Hälfte oder noch tiefer geteilt. – Abα. B. am Grunde herzformig: R. cordata E.
Mey., R scabrida Harv. (mit 2hausigen Bl.) und R. villosa L. (auch in Queensland
vorkommend, aber gewiss nur eingeführt Fig 84 F). – Abβ. B. am Grunde versch-
mälert, nicht herzformig: R hirsuta L. und R. sessilifolia Hiern, beide
mit sitzenden B. und sehr kurz gestielten Bl. R pallens Thunb., R ambigua
Vent. (mit polygamischen Bl.), R nitens Harv., R cistoides Welw., R glabra L.,
R. parviflora Hiern – B. Bl. 4 Zahlig; Fr. drüsig R glandulosa Harv.
Nutzpfl. Von R lucida L. im Kaplande unter dem Namen Zwartbast
bekannt, wird das Holz vielfach als B[illegible]

仙毘
古柿
名未詳

明治三十年五月下旬 金野野嬰君遣子 花ヲ写ス 両全花ナリ

(Engler + Prantl, Pflanzenfamilien.)
Ebenaceae

1. Royena L. Bl. meist 5-, selten 4—7 zählig. Kelch glocken- oder krugförmig,
lage
Blkr.,
1.4
artig,
t
gen
gen,
ber"
5
Kelch
a L.
Rand
ch.
ide
a
L.)
Hast

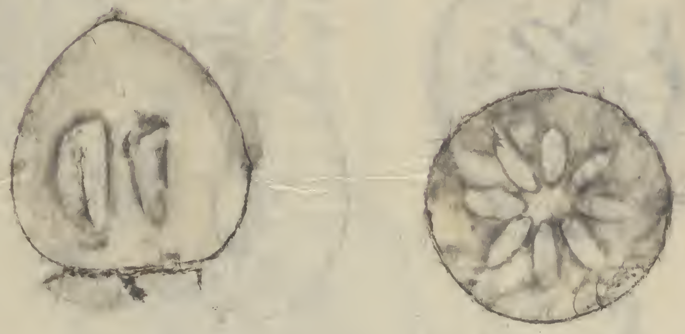
明治三十年五月上旬 駒場 採折 柿根木トシテノ 雄花及両全花ヲ写ス

雄花

雄花蕚

両全花縦裁ス

仙芭
甘柿
名未詳
四瓣黒澤之
核扁瓣大也
味ありて
如丹扁也

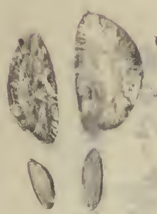


大如雞卵也

葉ノ形

(Engler + Prantl, Pflanzenfamilien.)
Ebenaceae

1. Royena L. Bl. meist 5-, selten 4—7 zählig. Kelch glocken- oder krugförmig,
lage
Blkr.,
.4
artig,
t
gen,
gen,
ber.
5
Kelch
ä E.
Rand
ch.
cide
a
L.,
ttast

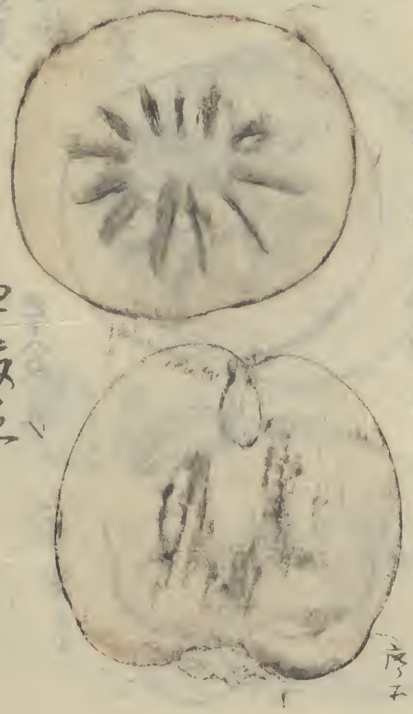


子房十二
個ヲ核
八個ヲ有ス
中四ツ大ク
四ツ粉乙

武州八王寺町ヨリ持来 甘柹

青磨

楕円形 下部ニ凹アリ 四ツ[illegible]
四座柹ノ如クナリ [illegible] 柹ノ大サナリ

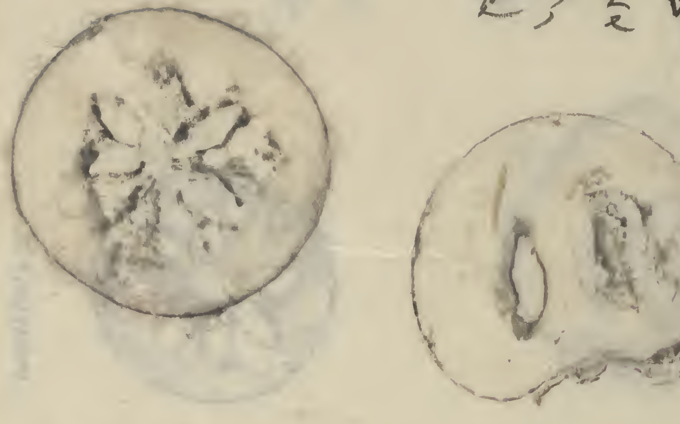


甲州ノ産

三十五年十月十日 [illegible]
青木 [illegible]

仙台 甘柹 名未詳ノ

老星黒斑アリ
核ハ楕円形ニシテ
長サ形ノ
モノヲ見



以上二子共 [illegible]郎ノ世

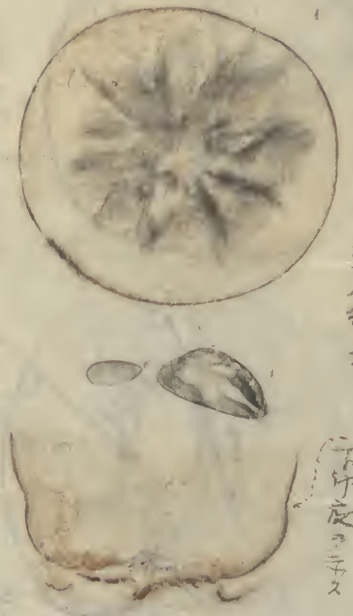
田[illegible]

仙竃
老圓
狭而
味ヒ
又ノ白

外皮黄赤色ニシテ
鶴子位ノ色ナリ
内部黒斑細小
ニナ多カラネ故ニ
内部美ニシテ
味モ甘美ニ
品位頗ル
外覆ニ比シテ
優レリトスヘシ

左ニ果ヲ比シテ見ルニ 後ノ方正圓形ナルトスヘシ

子房八ツ内 挟去ナラ



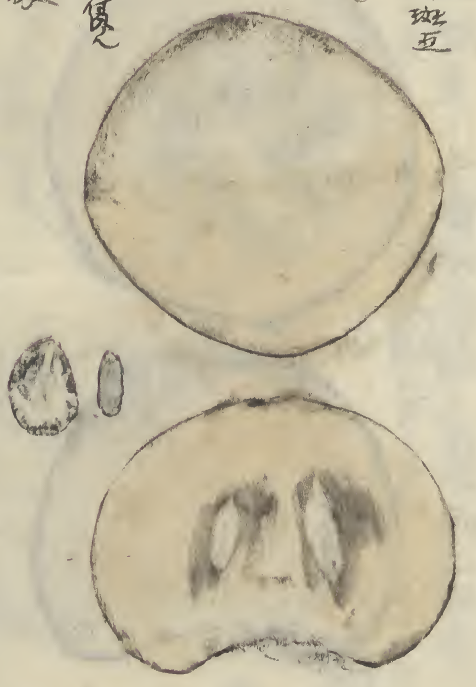
三十八匁ノ子

下部底ニテス

大聖院 甘柿 早熟

鈍方形 扁圓 外皮ノ色美ナラス

内部紫褐斑点
アリ
味ハ甘シ
極美ニ
アラス
良熟
柔軟
上中之質ナ
罕有



黒熊

五十九号

甘柿

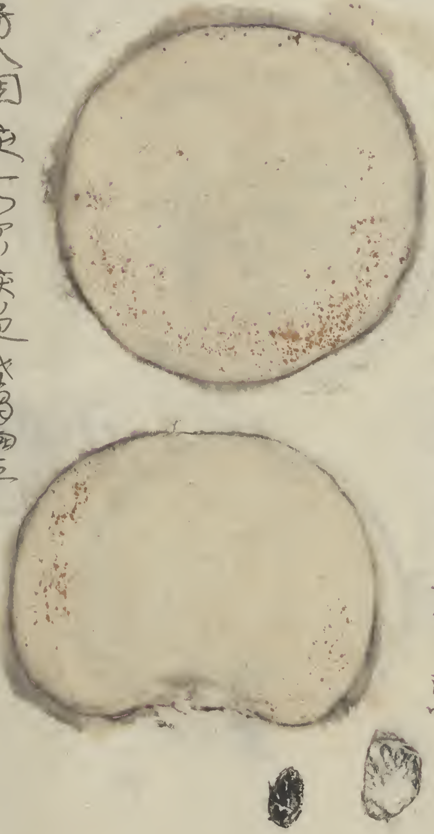
安行柿白

十年十一月廿六日 田芳

形圓ク稍扁 外皮紅色艶美

肉ニ良熟シテ柔軟甘美ナレ氏尚一方ニ渋味ヲ存ス

子房八個 核一ツアリ 核ノ辺紫褐細点 ...



錦赤丸

五十号

紅色艶美 内ニ紫褐斑点多ク味優美ニシテ良熟柔軟

上ヨリ見タル …

在安行甘柿ノ白

六年十一月廿六日 摘 田芳記

當 セイハクビツ　十七年十一月二十九日

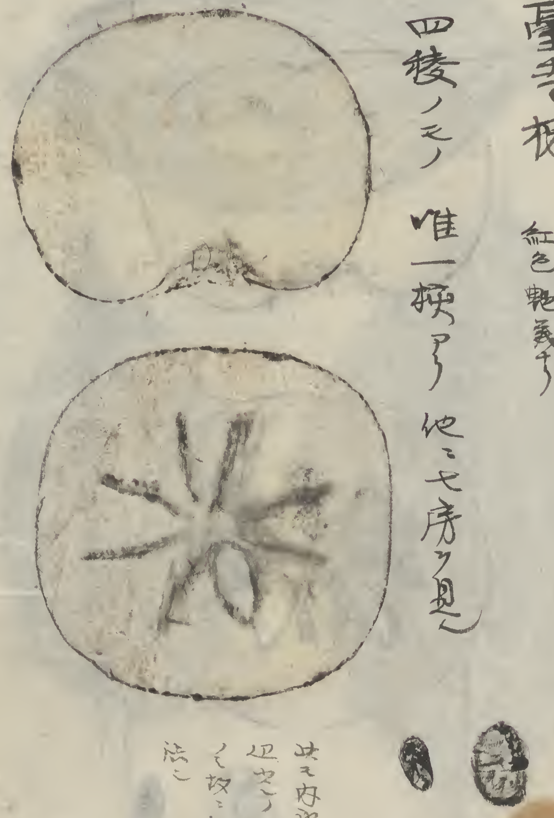
圓形ノ大塔ナリ　遠足帯来ノ標本ナリ　味佳ナリ

東京大学総合図書館

蓮臺寺柿

四稜ノモノ 唯一核アリ 他ニ七房ヲ見ル

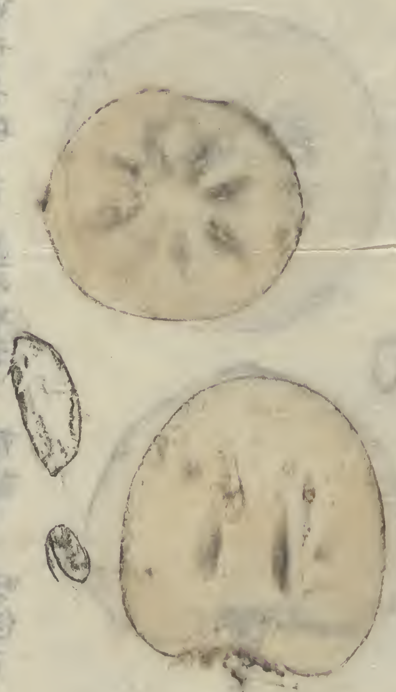
此二個ハ黄赤色ニシテ尚直切シテモ 既ニ樹ニアリテ熟スルモノハ 紅色艶美ナリ



此モ内部ニ核ヲ 包含スル胡麻ヲ 生ス故ニ他ハ之ヲ 除ク

同

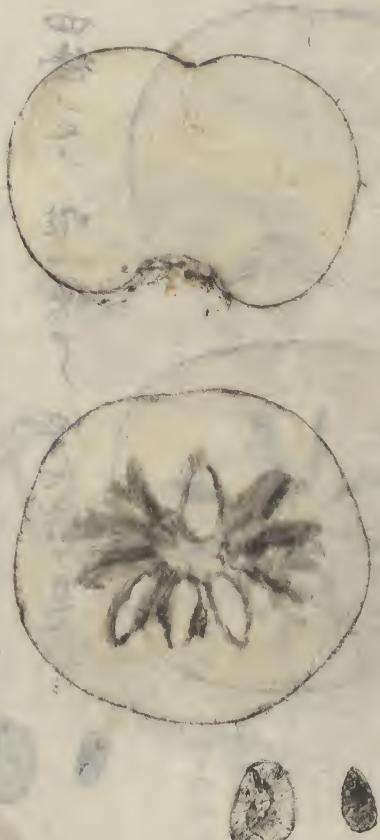
ワハノコ形ノ 紅赤色ノ柿 是ハ渋柿ナリ



伊勢国度会郡宮本村大字勢田産

此村ニハ手柿ノ
蓮見青柿ト云フ
此地三十戸アリ
柿ノ代金ヲ
以テ生活ス
[illegible]
地ニ柿ヲ
植ヘ
此木ハ相對シ
テ[illegible]
リ[illegible]
[illegible]
シテ[illegible]

山本沈三郎宅辺ニ多ク植ル 手柿ノ葉
日下美ハ武万蔵ケナリ 且其葉端
西斑点アリ 無微
蘭ノ葉ノ如シ



五稜ノモノ 横断ア 両子房六ツアリ 外ニ小稜アリ

蓮台寺ハ 神宮ニ由縁アル寺ニテ
宝物アリシカ維新後廃寺トナル
従テ柿ノ名モ換ヘテ
以テ今ハ蓮台寺ノ
名ハ地名ニアラズシテ
柿ノ名トナル

明治廿五年十月十七日 同家ニ于テ得タ 大ク印ス

田芳書記

蓮台寺ノ 岩根内府栽ル所

ゴスケ 外皮赤色 美麗 光沢アリ

黒胡麻細カニシテ 味甘美 無渋

廿五年十月十八日

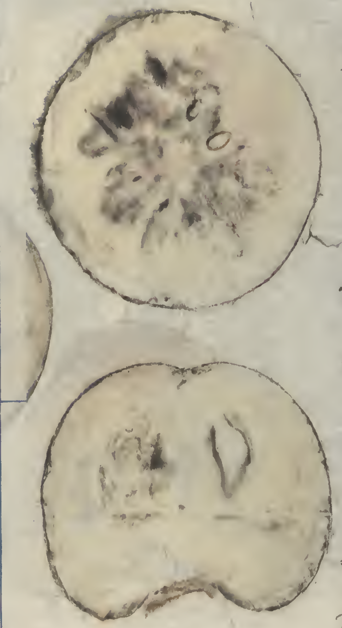
尖頭無皺ニ

内部之紅色ヲ帯ブ

「岐阜ノ ゲンゴ子」 ト同物ナラント名和靖氏云ヘリ

良好ノ品質ナリ 然レ 頂上浸潤易ク 酸気ヲ醸シタリ

同前 甲州丸 東京ノ セこいろニ似タリ 全中黒細胡麻アリ
甚堅ク美味ナリ 星ツ多キ方ノ柿ハ柔ラカナル風アリ



三日市氏 柿ノ話

一 クサヤキ 低地ニ植ヘ山地赤土ニ移ストキハ実ニ異形ナル

流ニ「レニダイレンガキ」ト云フ

一 ニタリ 「コニダイレンガキ」ヨリ形美ナレド味大ニ劣ル

クサヤキ

外皮黄緑色ナレバ

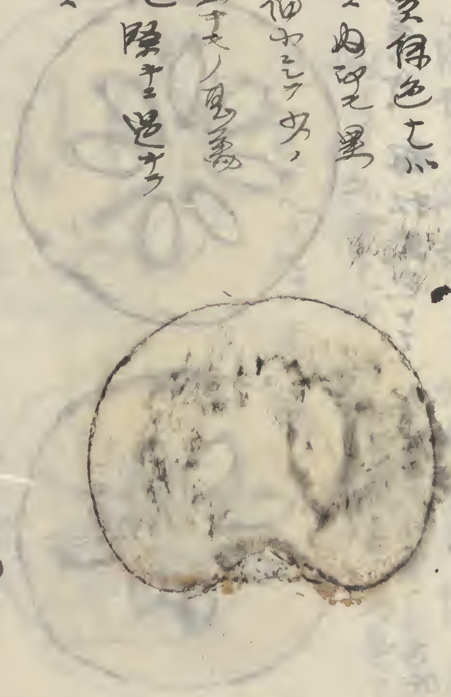
美ナラズ 肉ノ色ハ黒

胡麻[illegible]

[illegible]ノ[illegible]

味 絶[illegible]

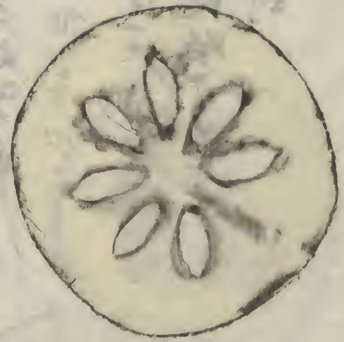
[illegible]



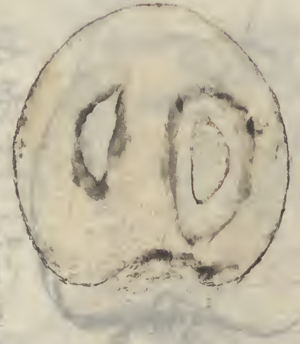
方形ナレド 稜ニ五角アリ

[illegible]

磐梨ノ産ノ実ハ　鮮紅黄色ニテ　果形扁平ニシテ味上等ナリ
至ヘナリ
其実ノ極大ナルモノハ　二百匁ニ至ル者アリ
廿五年十一月二十八日　田方ヨリ

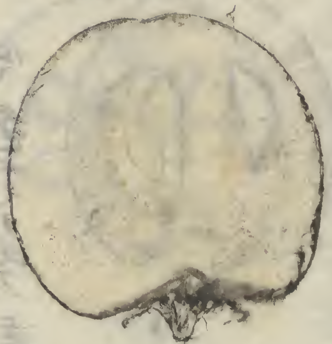


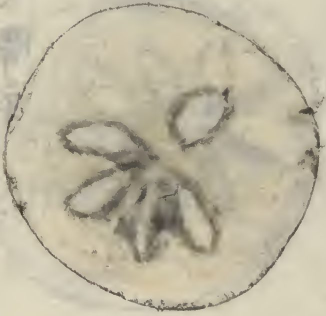
ホチジ　浜椋ノ湯抜ナリ　外皮黄色ニ緑ヲ帯ビ
廿五年十月十八日ヨリ
略アリテ外青ク　味甘不佳ニシテ悪臭アリ
但　柔ナルヲ以テ　熟ニ適スル



東京大学総合図書館

同前　較大ナリ　外皮黄赤色ナレトモ深赤ノ所アリ





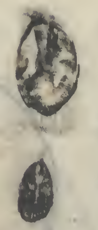
是ハ方形ナレトモ并五角ノ色アリ

十月九日

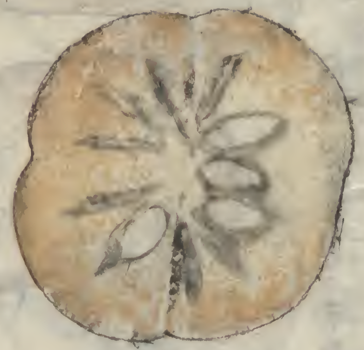
核色　茶褐色ナレトモ濃黒ナリ

ニタリ　外皮黄赤色扁ニシテ不正之方形ヲナス

子房十二アリ　肉部黄赤色ニシテ胡麻ナシ



核色淡



形色串柿柿ニ似テ黄ク
熟シテ甘ミナシ 目下尚鋭ニ至ラズ 故ニ尚堅ク色赤淺シ
甚熟スルニ至ルベシ 尚味見ベキ 全ク 猶渋気アリテ甘味淺シ

九五年十月廿六日

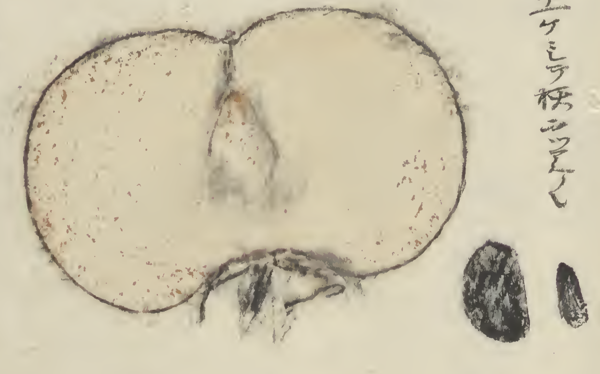
田芳記

つ[illegible]美術之

三日市石田 蓮華寺柿 七十五匁ノ一

中心ニ小黒タ食ス 蓮寺柿ニ似タリ

玉房土ケミテ柿ニ似タシ



三年十月廿五日ニラ熟 紅色ト大ニ異ル 甘味 串柿柿ニ似タリ

東京大学総合図書館

東京大学総合図書館

日向都城割石
押柿
田中様

佐田愛親

東京大学総合図書館

甲號

第　號

名品

數点均平

合計

擬賞

縣廳名府

部類

告

出品人

製産人

協賛人

審査官

擬賞

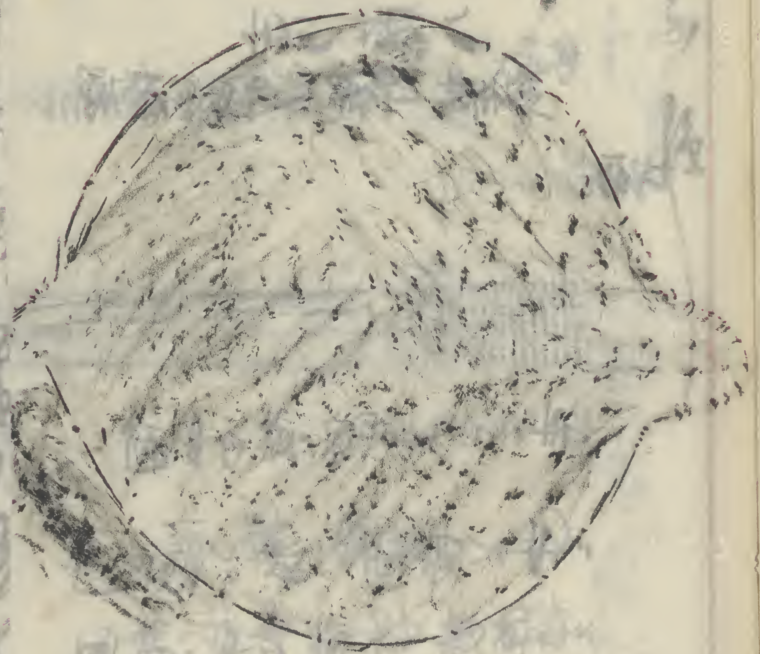
點數

甲號

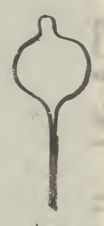
第　品	平均点数	合計	擬賞	府縣名
名			農	部
出品人 製産人 協賛人	審査官 擬賞	商数		類

東京大学総合図書館

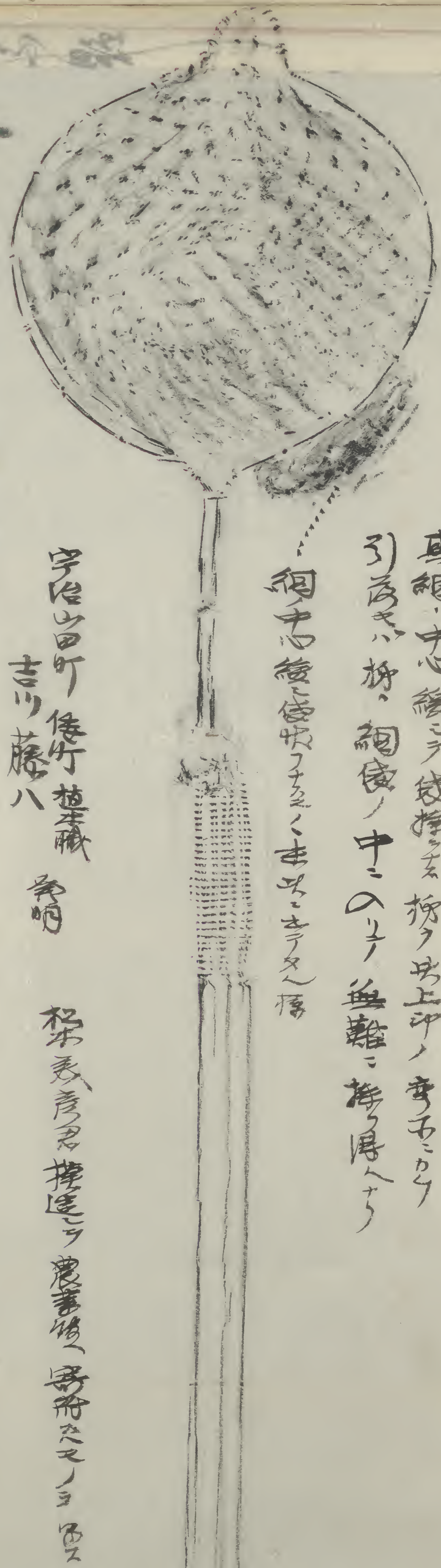
子鰈
十局
見
葉
明ラ
ナル
テ一



熟柿採具　鉄線ヲ



如此曲ケ之ヲ木柄ノ末ニ着ケ其鉄線ヘ麻糸ノ網ヲ附
其網ハ中心綫ニテ枝様ニ去リ採ク其上ケノ寄子ニカケ
引落セハ柿ハ網袋ノ中ニ入リテ無難ニ採リ得ヘキナリ

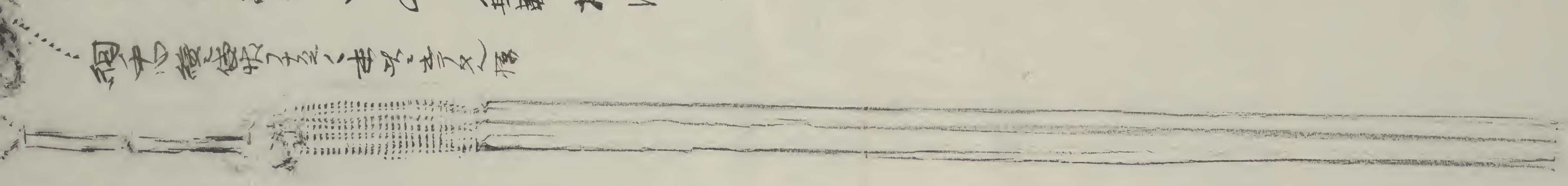


網ノ中心綫ニ鉄坂フナキハ未ダニ去テタル様

宇治山田町 俵町 植半藏
吉川藤八 発明

松秀彦君携送シテ農事館ヘ寄附セシモノヲ写ス

[illegible]



宇治山田町 [illegible] 吉川勝八 所持

[illegible]

明治[illegible]年[illegible]

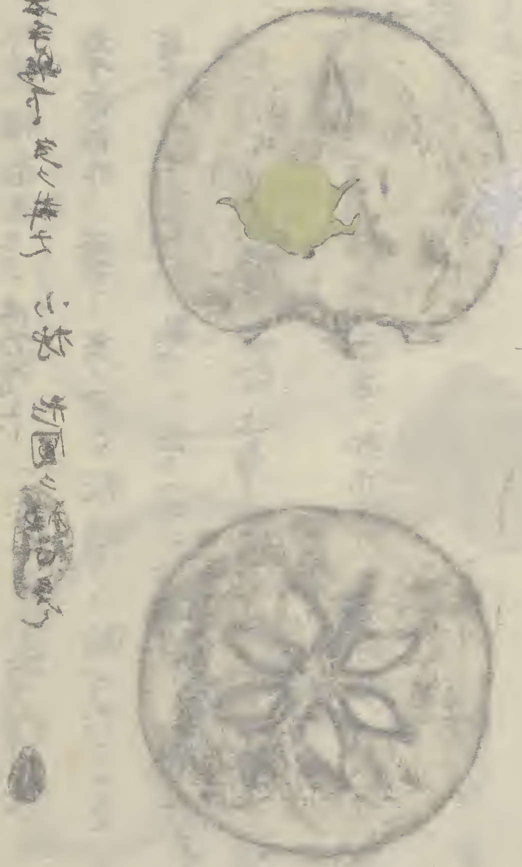
田中[illegible]

子[illegible]題
[illegible]記　[illegible]
煩憂ヲ除却シ抑
鬱ヲ[illegible]味カルニ方リ味性ヲシテ[illegible]適
茶[illegible]ノ語ニアラス口中ヲ爽快
ナラシムルニヨリ常人ニ賞[illegible]發スル[illegible]
ナル[illegible]我ヲ慰ムルニ藥ニ依
テ一種ノ山茶ヲ[illegible]製シタル

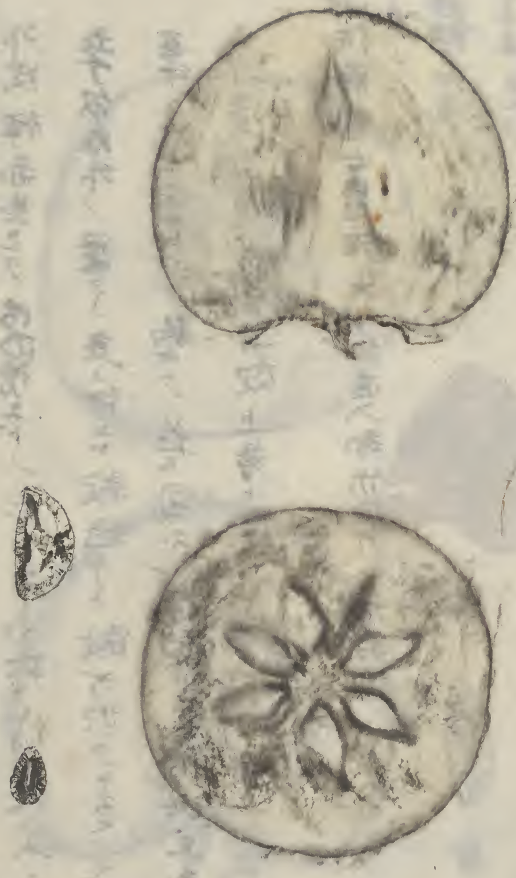
第三回内國勸業博覽會事務局

ニノナル故ニ酒精ヲ費ス香氣
ヲ帯ビタル（福岡ニナルベシ）是ヲ以テ茲ニ
柿子ヲ前ニ酒ニ糀ニ塩漬
樽ニ移漬シテ香味之変化
ナラシムルニ頗ル甚シ漬ケ佳良
之吟味多ル事記ニテ評
中川年兄

福岡名産志恩寺柿 其實甚長 状ハ筆柿ニ似タリ 獨人
是ハ日氏患部ニテ有之トモ
明治三十年十一月大谷 田中芳男

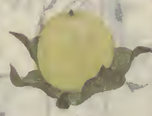


安元年ノ定メ年ニ 小柿 右圖ハ實物



一福岡名弘前ノ志賀重[illegible]實長　依テ[illegible]氏ヲ得ル
是ハ日氏[illegible]ヨリ名之トス　明治三十年十一月六日　田中芳男

岩手県下多ク栽之　小柿　形圓ク種子多シ



外皮 鮮赤黄ニテ 内肉赤ドノ色ニ至ル 核ニ近キ処ノ肉ニ
五子アリ内外ノ黒キ 多ク中ニ 皺紋アリ 核ハ方形ニシテ大ナル
甚キ、秋ナ四五十又ノク熟ナリ 若同ス 内部ハ黒褐斑点多ク
アリ 質柔カニ 味甘ク 殿上善ナルベシ

伏藤蔭右衛門話 大分郡直入郡竹田町 九山柳 ナルモノ之ト同ナリ

名古屋市子…各町…氏ノ邊ノ柿ノ実
六八年十月十二日 …

東春日井郡 不二村 フジ

紅葉熟柿 甘数

十九日 …
尚…

盤ノ上ニ干ハ披敗ス

子房八室 核六個

愛知郡高針村 カラスこ
紅渋ノ有様ニテ内部ハ
黒斑点アリ甘柿
ハナレ口 品位ハ劣等トス

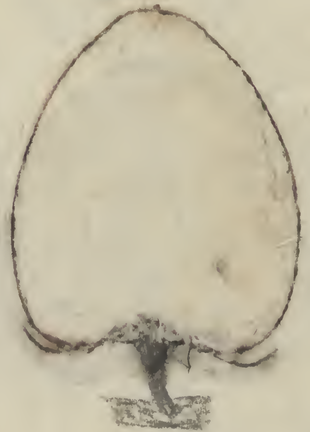
東春日井郡 上条村
やさい柿
紅色美艶 楕円形
内部細黒斑五毛 甘美
ナレ口 品位宜シ 前者ニ下リ

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
白斑ヲ[illegible]密生シ
濃紅色
[illegible]
子房八子種四
切開[illegible]
[illegible]液汁[illegible]味
甚淡泊ナリ

三十五号

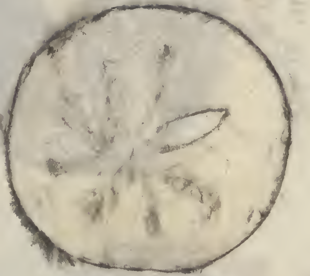
十月廿三日

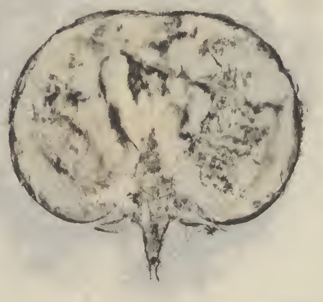
アニサイ
面赤色多シ
皮赤トスく
子種有概ナリ
味甘美ナリ
未熟ニハ良全ナル
子房八個 子種八個アリ



丹後 ブチガキ
俗称ノサワシヤ

三十年十一月四日 京都府下元本家村某氏
持来ノ者ノ分
六二友内外 子種アルモノ





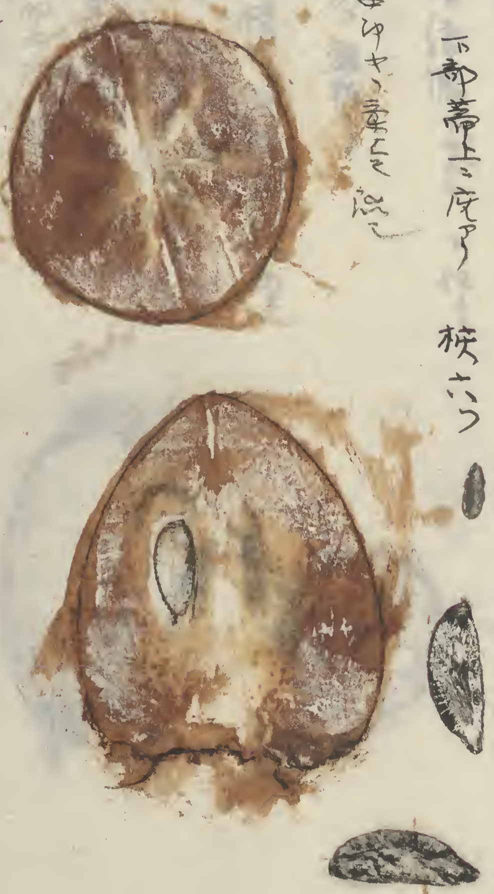
外皮黄赤色ニテ内部ハ 淡黄赤色 数甘 味ヨシ 又大ニ美ナルモ
足ラズ

乾柿（ヒカキ）　明治十年十一月十□配 後ヨ寄ル物

三十七匁　下部蒂上ニ庇アリ　核六ツ

尚未熟ニツキ中ヤヽ渋ヲ含ム

外皮
黄赤艶美ナリ　皮ニ斑点アリ　他色ナシ



美濃センボンガキ

按信濃フデガキト似タリ

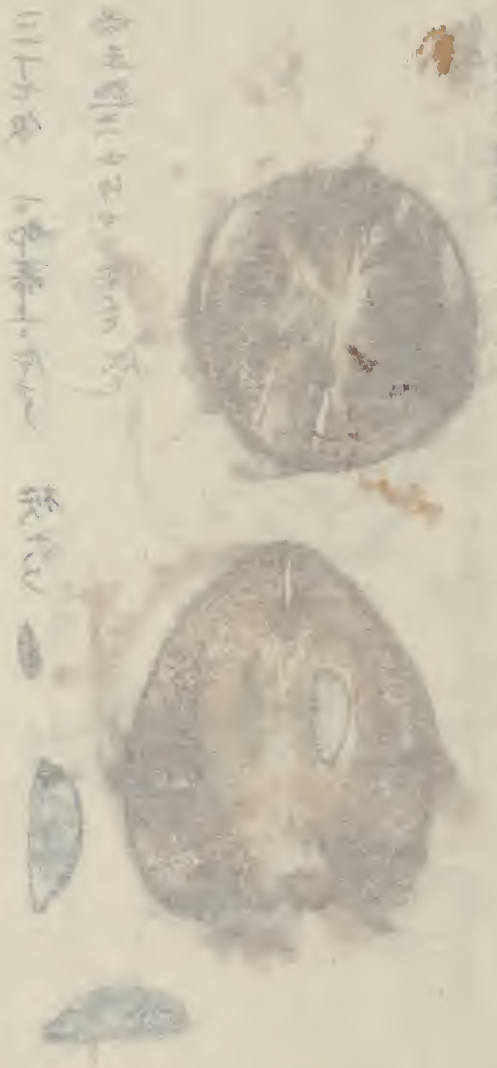
渋柿ノ[illegible]種ナリ

形長楕円ニシテ紅黄色ヲ呈シ

二種ト[illegible]

[illegible]

[illegible]



大ハツサガキ

相馬郡金房村大字大ハツサ邑

明治九年十月十四日

右ノ村宮ニ於テ寫之

外皮赤紅色多少ノ斑ノ黄色ヲ見ル

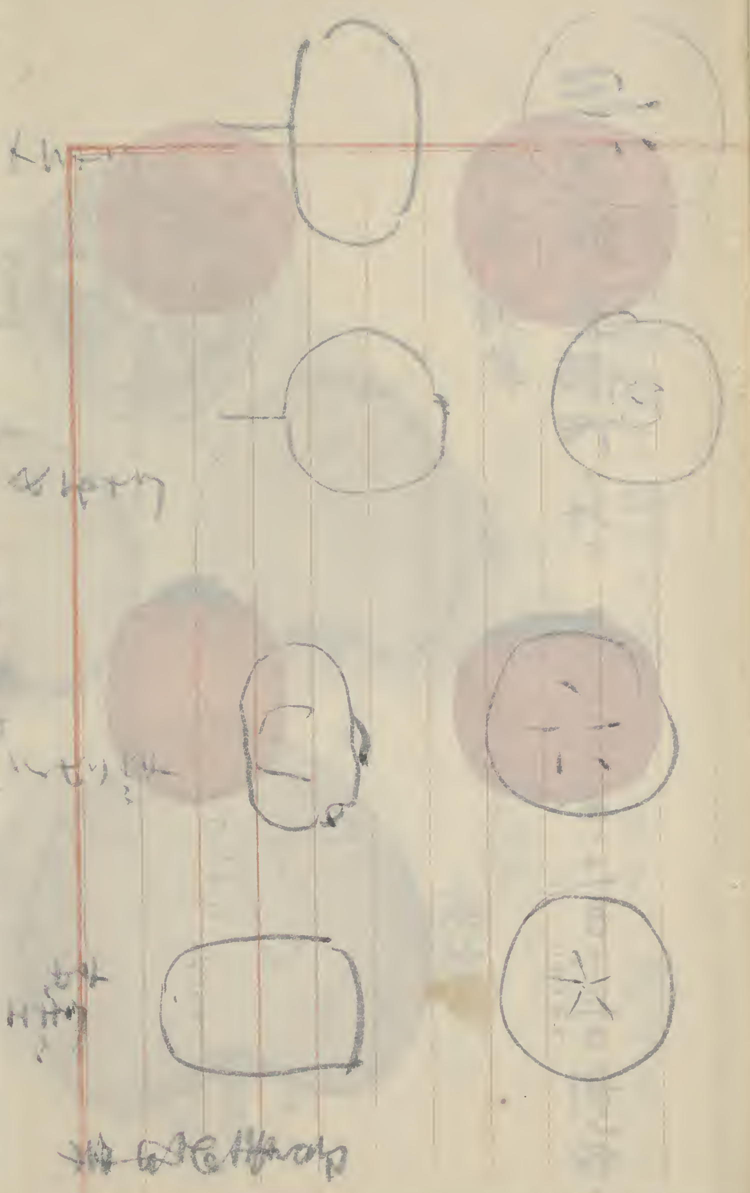
形方形ニテ頂ハ平ナリ

肉ニ黒斑アリ　常形柿ニ比スレハ

早熟ナリ　味甘脆良好ナリ

一ケ年ノ産凡五千顆アリ

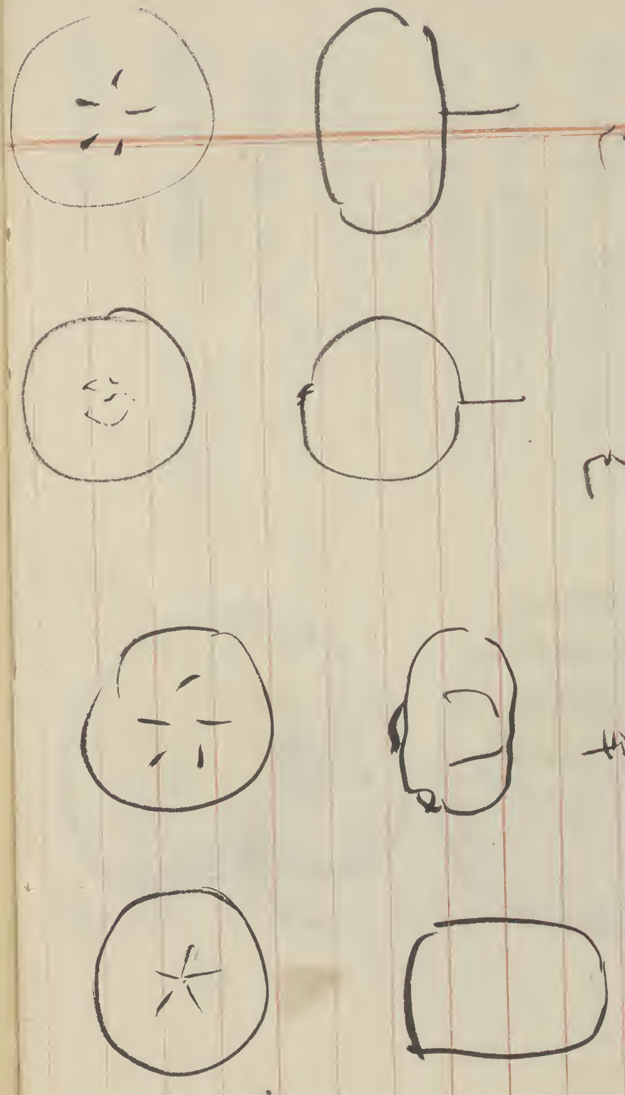
此果ヲ横断スル図アリ



東京大学総合図書館

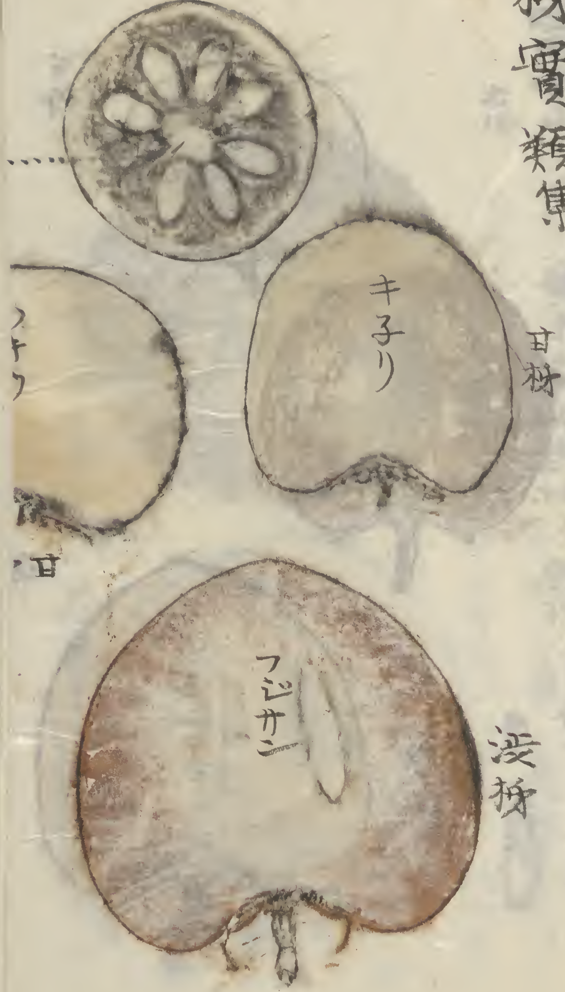
三河國豐橋町ニ於テ本年十一月十三日得ル所ノ

柿實類集



三河國豊橋町ニ於テ明治二十四年十一月十三日得ル所ノ

柹實類集

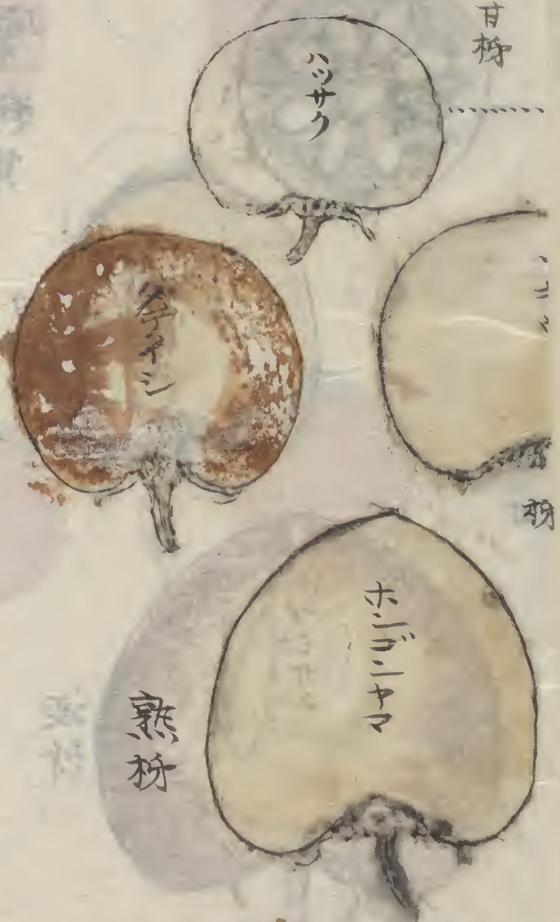


東京大学総合図書館

冨士山
渋柿

黄赤色 尚渋味アリ 熟柿トシテ食スベキモノナラン

乗船問屋大船町ノ壷屋庄六方ニテ 田中芳男記



ホンゴンヤマ 是モ山ノ名ニ取ルトミユ 熟柿ナレバ甚ニ形ヲ損ス

浜砂

外皮赤色
其澤

右ハ蜂屋柿ニ同シ

ソキウ

甘柿

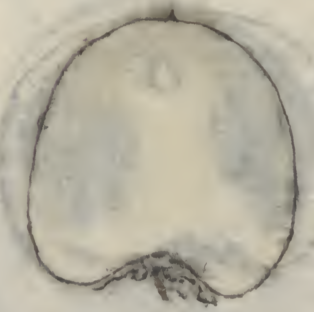
稍方形ナルノ圓形ニシテ扁ク 蔕ニ四溝アリ 歟稍凹ム

外皮 黄赤色ナレド色悪ク稍緑色ヲ帯ブ 墨付ノ如キ斑アルアリ

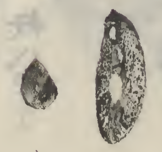
内部 胡麻褐斑多クシテ 甘味ナレド甚粗ニシテ 上品ニアラズ 核八ツアリ

コネリ

自柿



楕圓形ノ赤色 既ニ熟シテ熟ス時ニテ形ヲ損ス 此モノハ頭ヲニ 黒キ雲紋ノ 綻裂斑アリ 他ノ異ハナシ



肉質ニ黒胡麻アリ 核三ツ長シ

味甘ク堅密ニテ上等ナリ

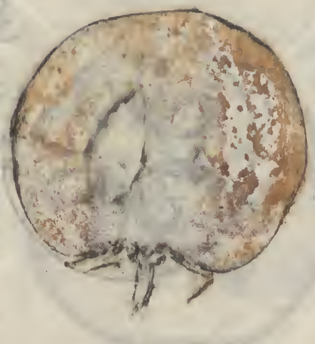
並ハ核ナシナリトノコトナレド三個アリ

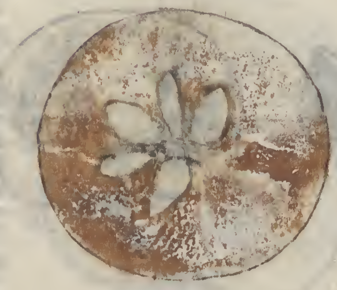
タテイシ

立石

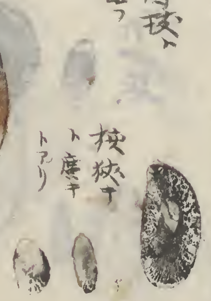
浜柿

黄赤色 圓形ノミニテ 堅ク 樽柿ト スヘキモノトス





核狭キト扁キトアリ



十月二十日ニ至テ良 進ンテ冬至ニ至ル 日数アレバ 堅ニ甜ヘテヨキモノナリ 良

柿ノ手ニハアラザリシ

ハッサク　八朔ノ実カ

甘柳

稍扁大

圓形

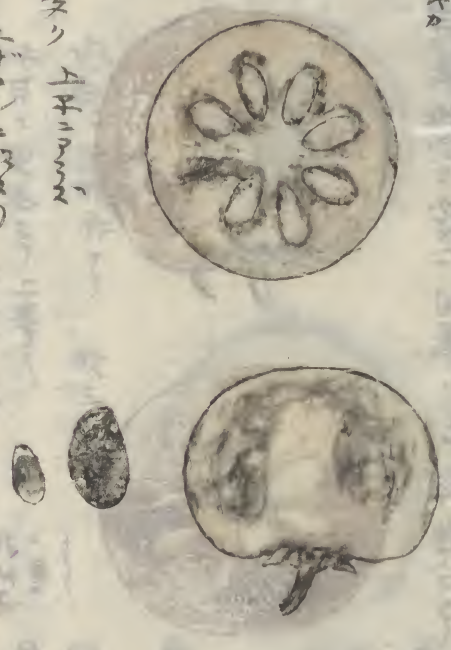
葉赤色

十七色悪シ

肉形巾ク核多シ　上平ニアラズ

但シ味ハ甘シ　ボザンシニ似タリ

黒斑麻多シ



三河豊橋　アンメウシ　渋抜　大文

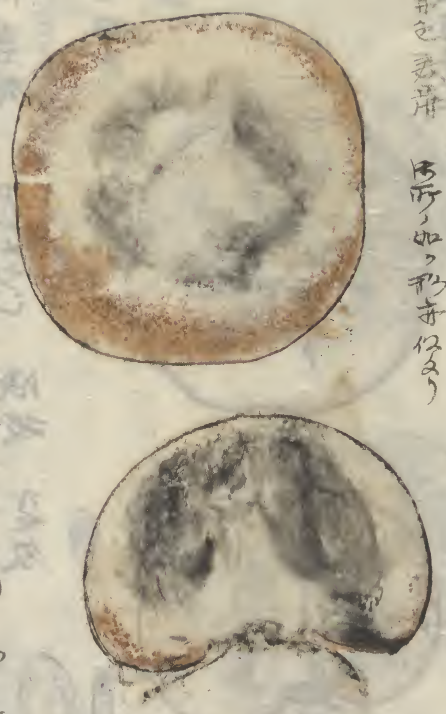
十月六日　甲斤

外皮暗赤色ニシテ肉実柏色ヲ満帯ス 核ニ蒂ハ突起シ四辺ニ溝アリ

味甘ナレドモ渋味ヲ存ス

三河豊橋　ゴショニ似タリ　四十五匁

外皮赤色光滑　蔕ノ如キ形亦似タリ



内部ニ黒胡麻アリ　甚ニ黒胡麻スルカ如シ　核二三アリ　周囲ヨリ下部ヨリ渋ニ

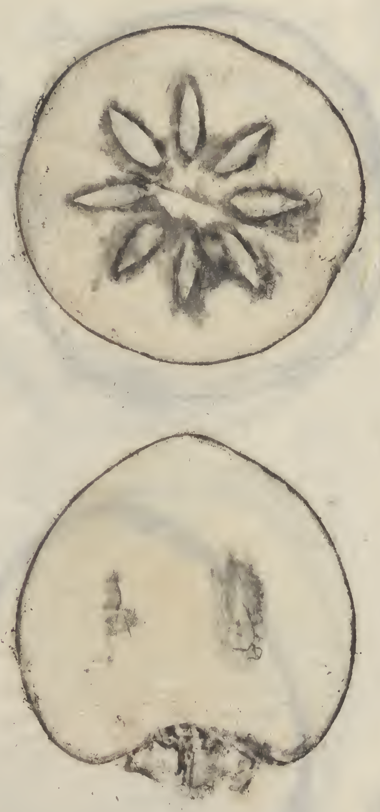
但シ熟シ久シキ中ニ甘美ナル質ニ富ミ　蔕ノ周リ軟ナリ

宇治山田町ヨリ　明治廿年十月三十一日

勘六　渋核　四十匁

外皮黄赤色　内部淡黄色　核八個

味甘美ナレ氏上品ナラス

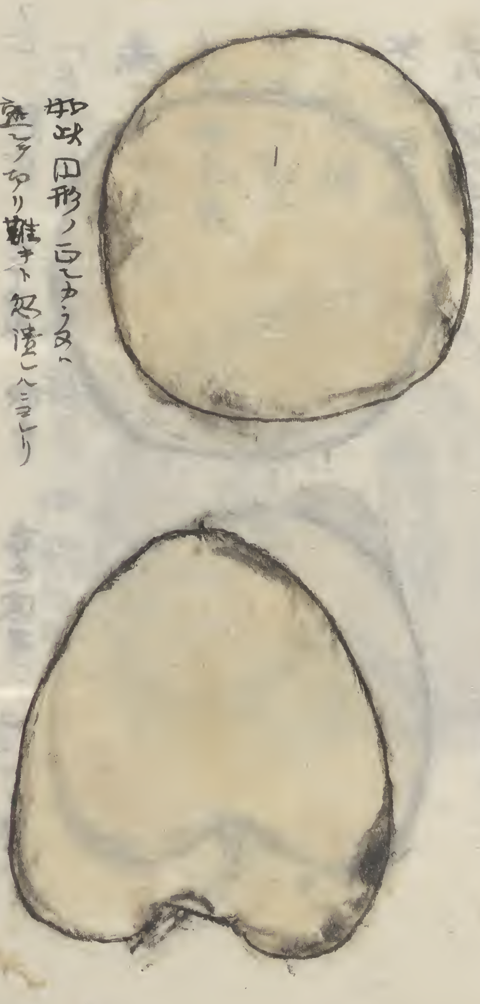


安房山田町産

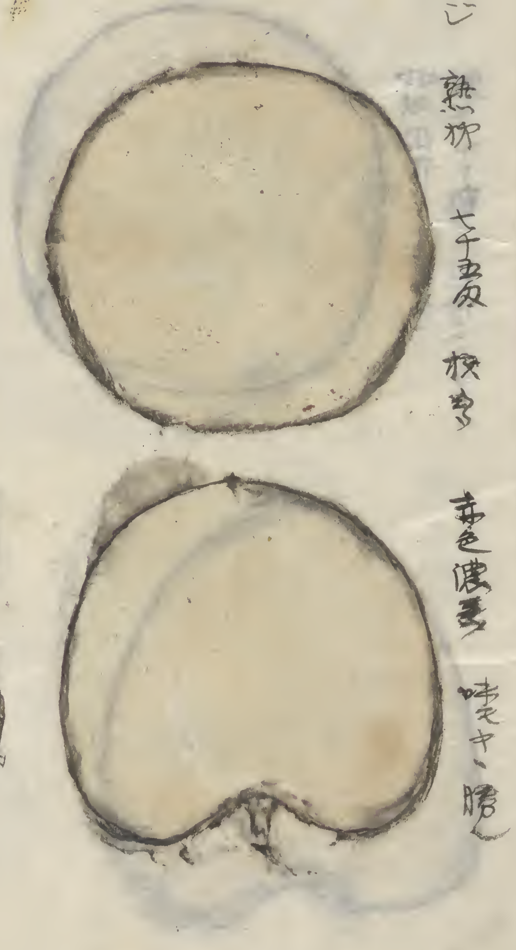
八千代 熟柿 本名 扶老

如此円形ノ四モナラズ

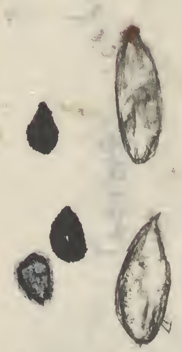
蔕ヲ切リ離キト忽潰レハミレリ

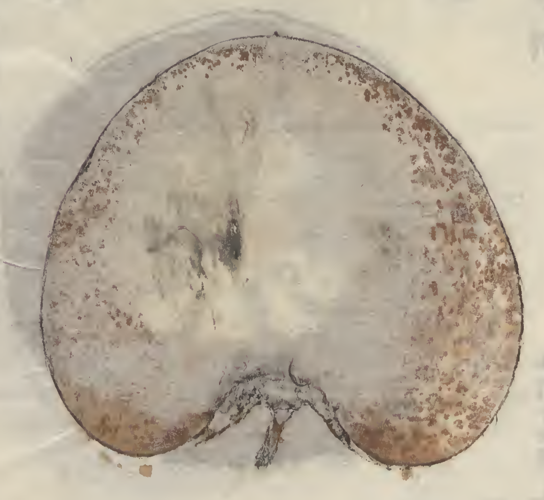


外皮赤色

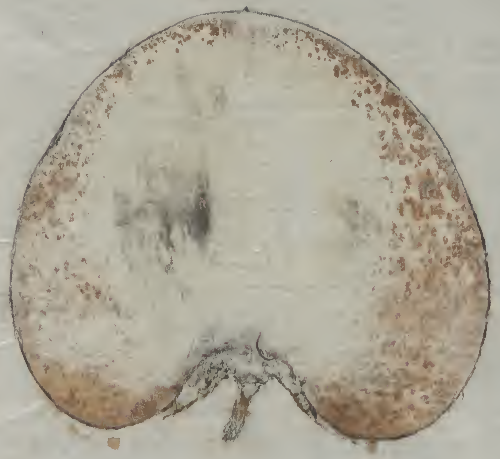


フジ　熟柿ノ如キ　七千五反　枝ヨ　赤色濃ヨ　味モヤヽ勝ル





明治四五年十一月廿日

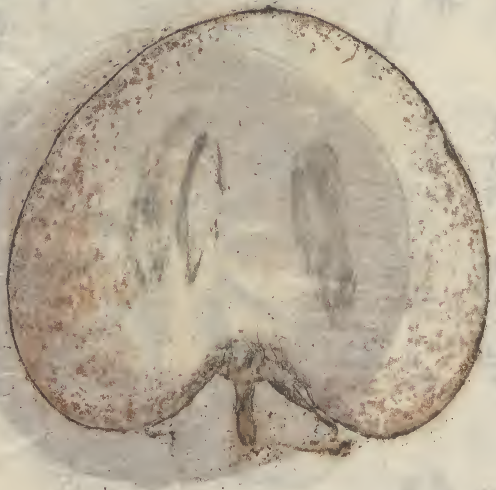


丁内資料 東京大学総合図書館

フジ
熟柿　七十五匁　核多
赤色濃シ　味モ亦勝ル

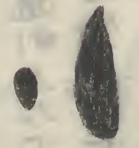
明治四年十一月廿日

伊勢産　富士柿
通例五六十匁又
七八十匁ニ止ルモ
此品ハ百十匁
アリ以テ偉
大ナルヲ知ヘ
外皮赤色美
裏ニハ大塊痕
ハ多シ　而シテ本日割截（スルニ）　尚渋気多



明治廿四年十二月携帰り
廿九日切試
田芳男

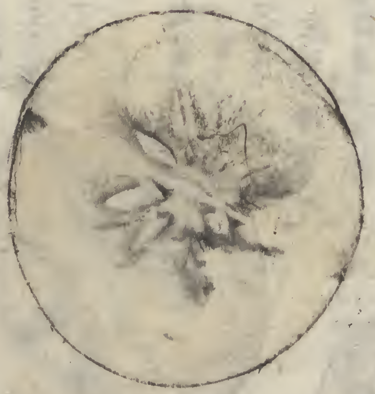
全形ハ圓クシテ鈍尖頭ヲ
ナシ稍五稜形ヲナス
子房十個ニシテ
狭ク 楕ク
長形ナリ
大ノ如シ



十一ノ廿七 男

ヨテラ 四十四数
外皮紅色 裏薄
扁円形 頂キハ凹ム
子房八ツ 小狭ニテ

肉卵ニ淡色 加藤之くニシテ
堅緻密
味甚美ニシテ為渋キハ 鞭之方 不十分之ニ之

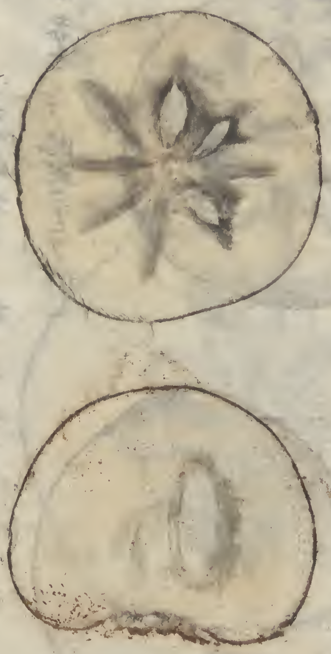


上方卵之色
クララ ト外
出何之氏内
卵ツ細ト
乱ムルニテ味モ
悪シ

ゴニザ　三十四匁　渋抜ニテ外皮細ニテ汚併有り
子房九ツ
ニテ狭ハ
てモ
さし
肉紫り
テ甘り
忠渋こ
連子ノ樺松色

コまり　十五匁
子房八つ狭き
外皮黄赤色ゆゆ色混り
東米ノキサワニニ似テ甘味多し

伊勢
宇治山田町
子コガキ
三十二匁
外皮赤色美麗　他ニ黒細斑帯ありえ魂し　下中黒色あり

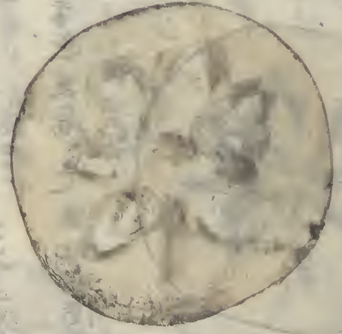


大サ四分

内部　赤色　美麗ナル　渋味あり　但甘味　上品ナル　渋抜セバ方已ヽトス

カ二口 二寸六分 横径 形大 皆抜

外皮 赤色ニシテ暗黒ノ点アリテ潤シ



肉 堅密ニシテ甘義アリ 色ハ淡シ 渋気甚シ

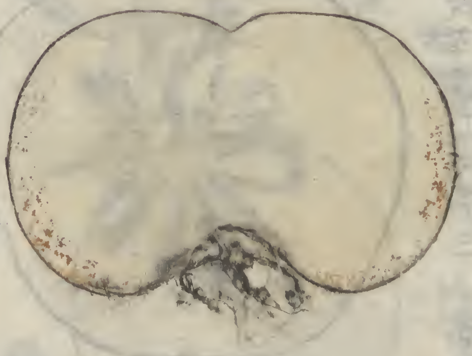
蓮臺寺柿

一名 ヒラガキ 五出又ハ六ノ

蓮臺寺ハ寺ノ名ニテ村ノ名モナリシ今ハ寺ハ廃シテナシ 此地ハ古市ト西宮ノ間ヲ西ノ方ニ入ル村ナリトヲヲ

柿ノ形ハ方形扁円ノ四ト云ヒ 長方扁円又不正ノ扁円等アリ 其内柿子ノ如キハ 五出ニテ十ノ溝アリ 蒂モ亦五出ナリ 一

子房十個ニテ　其子ハ三子アリ
上等ナルハ　赤色方正艶美
内ハ相連テ　肉厚肥ニ
佳味ナリ
其子ハ内部ニ相連ナリテアリ
形ハ　扁桃ノ如シ
按ニ　実形異質ナル者多シ
其子ハ子アリトモアリ　且一樹ニ　多種ノ結アリトモアリ　果ハ色々　猶ヲ肉甲ノ質
異ナル等大ニ同シカラサルカ如ク覚ユ



レンタイジノ　ヒラガキ
レンダイジ　トテ村ハ　内室ト　古市トノ　間西ノ方
赤色艶美ノ扁形ニシテ　白キ　方形ノモノ　多シ　多クハ　八角形　又五角ナリ
青キナルモ
按ニ　熟シ
久ク食スレハ
其味甘美
極メテ良好
ナリ

家山ハ　テナ勝ヲ見ユ

ホチジ

浜柿

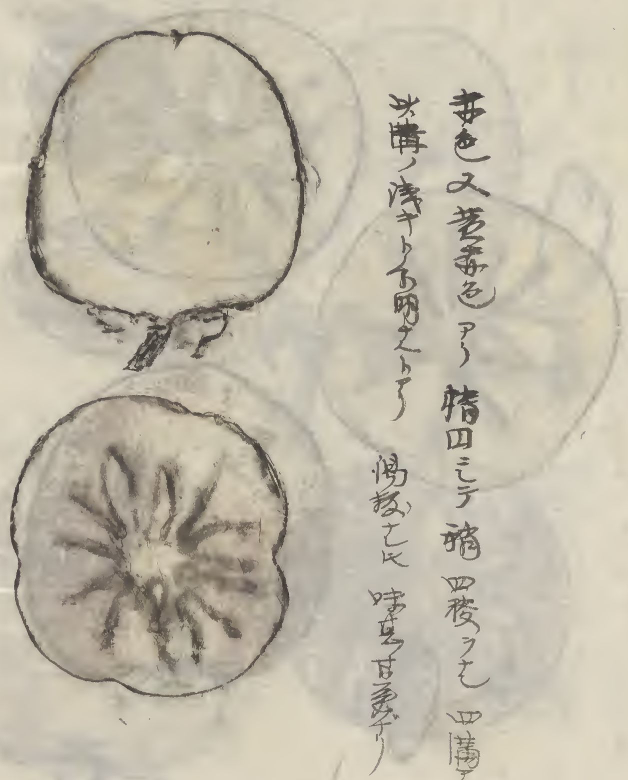
又ホウチジ 云

黄色又黄赤色アリ 楕円ニシテ稍四稜ヲ生シ四隅アリ

此溝ノ浅キト不明ナルトアリ

渋抜キスレハ味甚甘美ナリ

子房十又十二アリ 核少ク一二個アルノミ

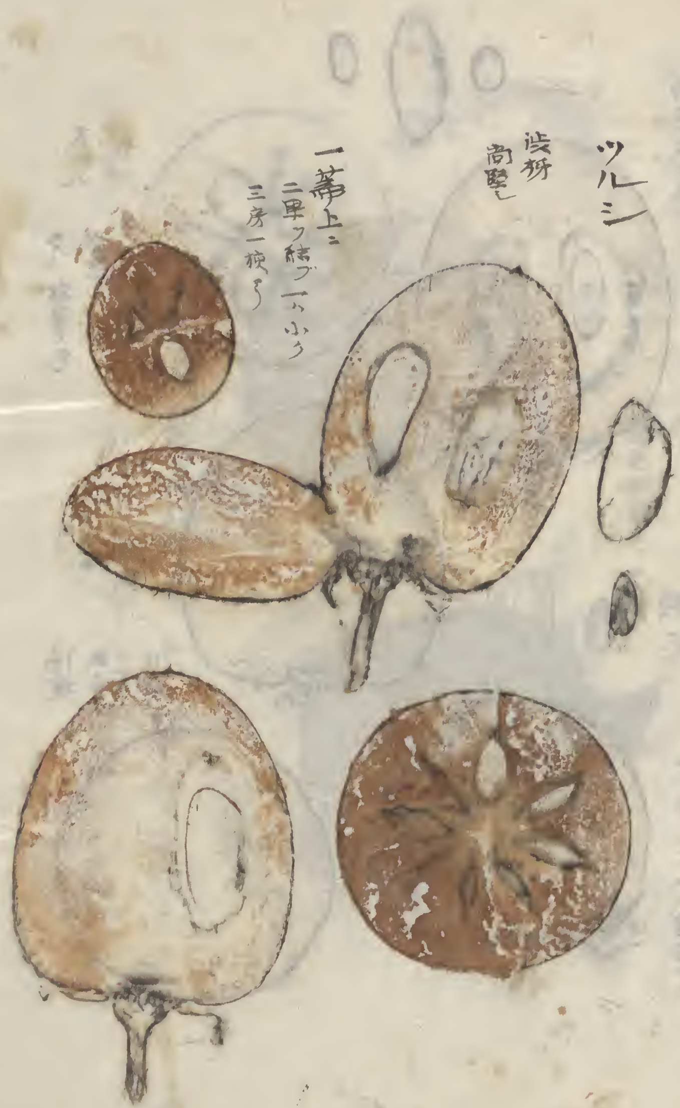


上部ノ臍凹深キ者ノ

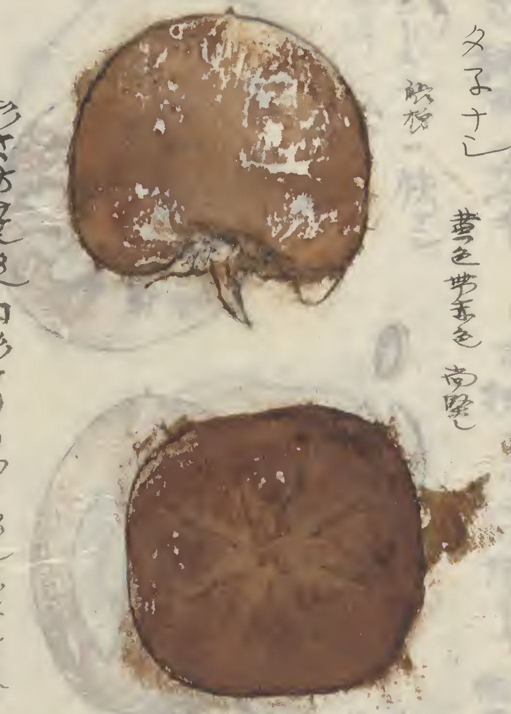
四形ノ者ノ出来柿（デキカキ）トス

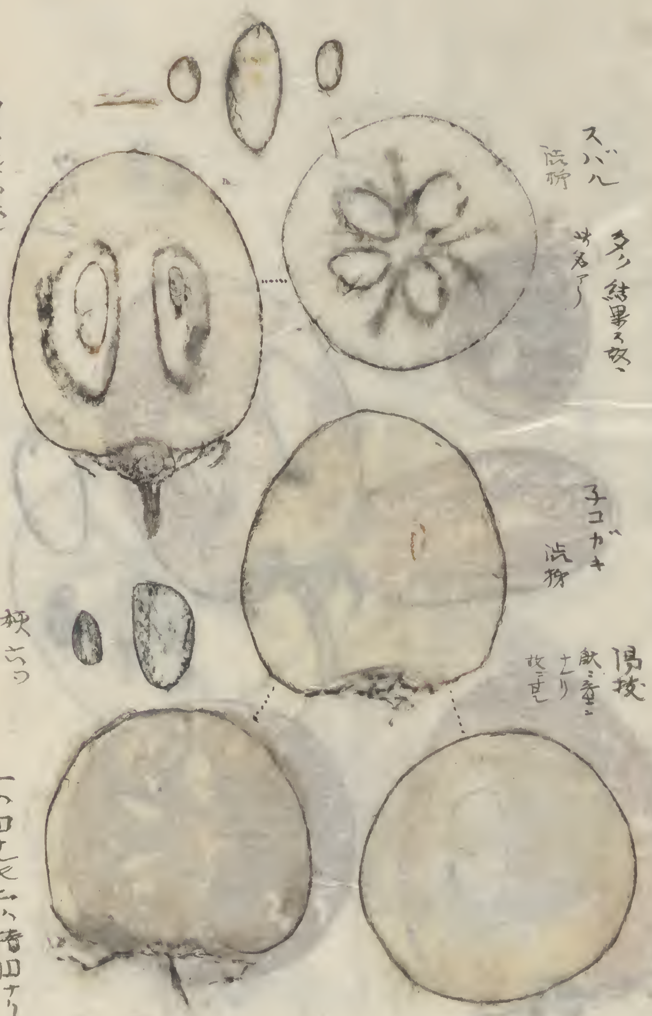
方形ナル者ノ

ミナ熟シテ甘美ナリ



東京大学総合図書館


タ子ナシ
浜松
黄色帯赤色 尚堅シ
形ヤヽ方ニシテ田形ナリ 日向ノ横セ柿モ之ニ大ニ同シ


湯抜セバ尚浜シ
スバル
浜松
タノ結果ス故ニ
此名アリ
子コガキ
浜松
核六ツ
湯抜
熟ニ至ニナリ
故ニ甘シ
一ヶ四十七匁二ハ稀ナリ

ハチヤ

澁柹 黄色帯赤色 甚堅シ

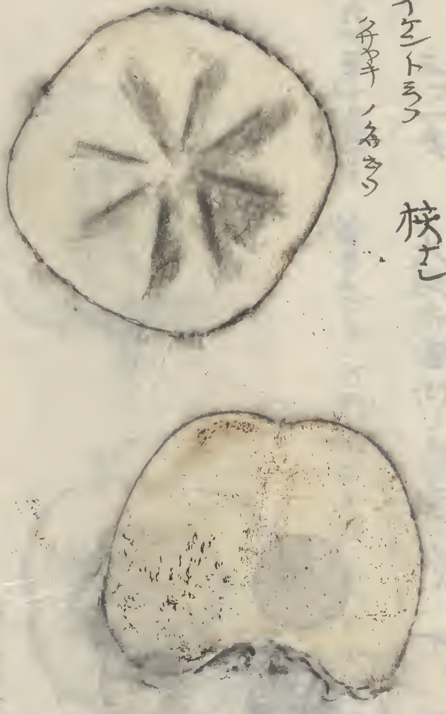
澁御所柹ノ内 禅田 ネチヤキ

甘柹ナレ氏食ハ澁アリ 核多ク[illegible] 肉少シ

又フサイケントモ云 核ナシ

黄赤色ニ 黒キ点多ク 色ヲ[illegible] トイフ

是ハ ネチヤキノ名アリ



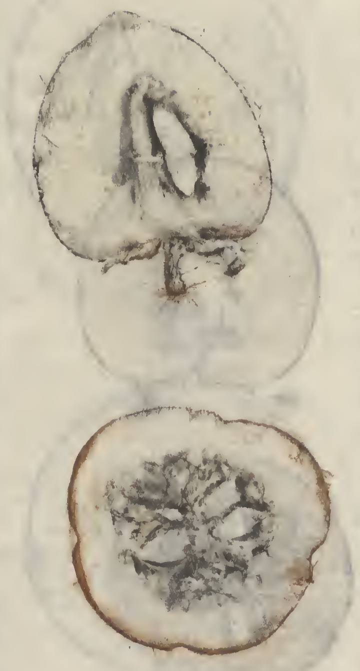
核ナキ甘柹ノ内ニ美人ユノ上アリ 今此実ヲ添テ 御所柹ヨリ

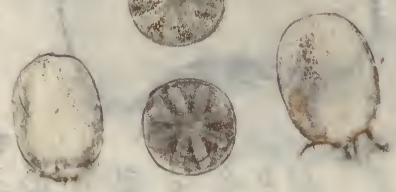
且ツ味モヨシ 但胡麻リナシ

トウノ　三ツ一キ　大坂唐蜜御ノ唐店ニ求ム　田芳記

九七年十月十一日　蔕并色ニ至テ方形稍四者與之比形甚不正ナリ

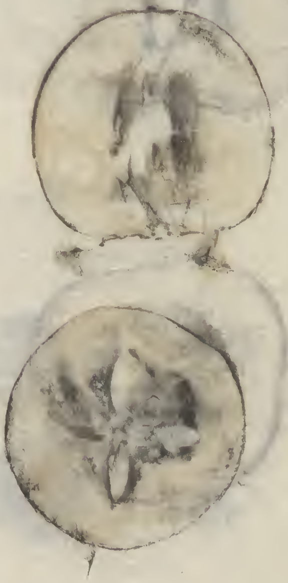
核ノ位置亦凸ヒカヘス　渋味高存ニテ甘味ノ少ハ甚之　良柿ニ劣ス





ブドウガキ　ロマメガキ　横手記

前者ノ内ニ交ル 紅色稍円ニテ内部紫褐色多シ 乗ニテ甘味多シ タボガキノ小ナル
モノ大ナルハ 全ク前者ト異ナシ



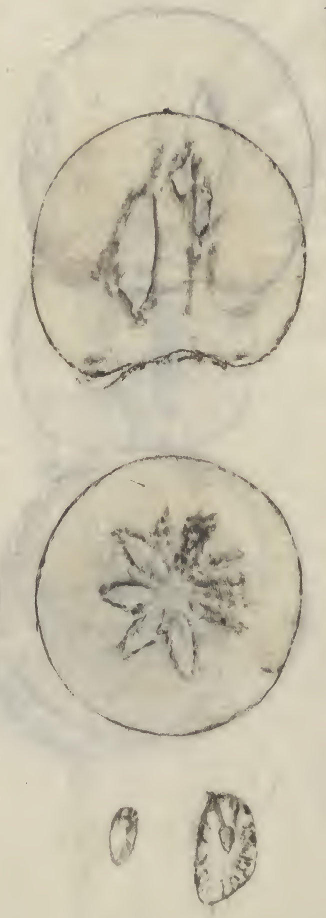
キマクボ 一ツ一株 大阪府管下例 薬店ニテ求ム 田芳記

丙年十月十日 外皮尚緑色多ク 成分ア黄熟ナシ 故ニ尚堅クシテ良熟ニ至ラズ
皮ニ近キ部尚白色 淡ニ上部ト内部ハ 稍紫褐色ナリ 甘味ナク 殊尚渋アリ

クボカキ

天満市　九七年十月十三日

圓形赤黄色堅実 大頭ニシテ四條ノ溝アリ中央ニ突テ



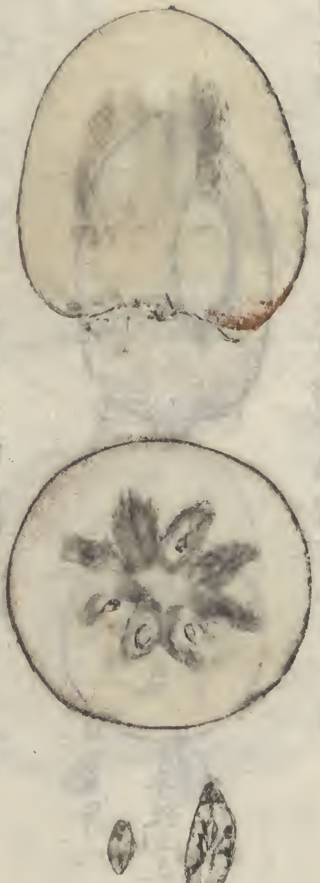
肉ニハ赤黄ニ至テ如キ尖アリ故ニ 尚早キカ如シ 肉中紫褐斑多ク 尚堅シ
味ハ甘美ナレド 品位尚佳良ニ至ラズ

子房八個 核四個

アメゴヤマ

大阪天満市　九七年十月十二日

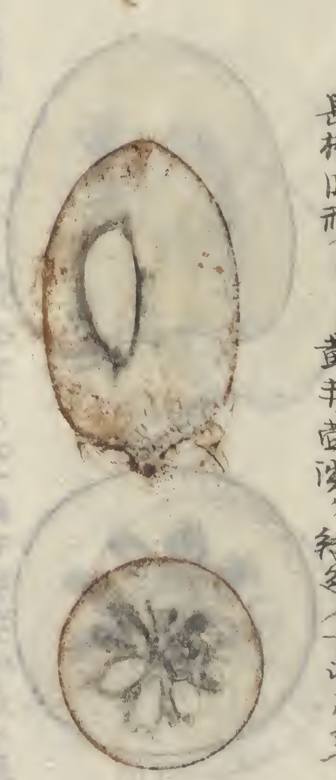
目下市中ニ数種アル柿ノ中ニテ最多ク最美ナル品ナリ 但内形稍美大ニ今尚乏



紅斑アリ 赤黄良好ナリ又 未ダ未熟ナルモノモアレド 其ノ如キハ 肉中
紫褐斑満チ 子房八個 子核五個アリ 味甘美ナレド品位ハ上等ナラズ

ツルノコ　渋抜テ后　美味也　渋味ナシ

長楕円形　黄赤白淡ク緑色ノ下ヨリ見ユ



子房八

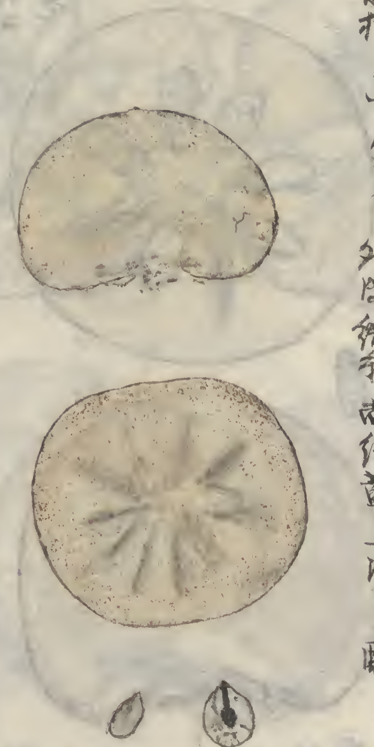
子粒二三

大坂天満市ニ取　十七年十月廿日

御所柿ノ小ナルモノ　外皮微紅　内帯黄且渋シテ醜シ

内中ニ紅斑アリ美香且甘美ナル者　渋味アル者ナシ

只柿ノ本色トカワラヌ也



三河 ツキウ

大形ニ似タル稀ナル御所 堅實 但如此大ナル優等ナリ

他ノ名ハ尖ルノモノ毛

根ハ中常褐細斑

毛ハ甘味高キ

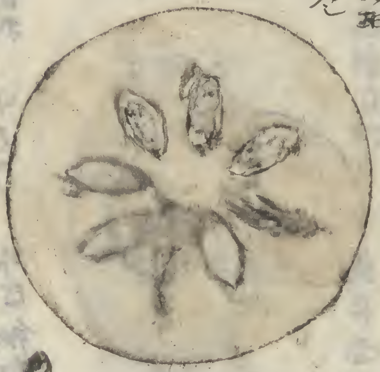
肉ハ良熟ニ至ル

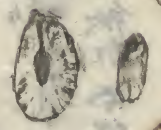
甘ク高美ナリ

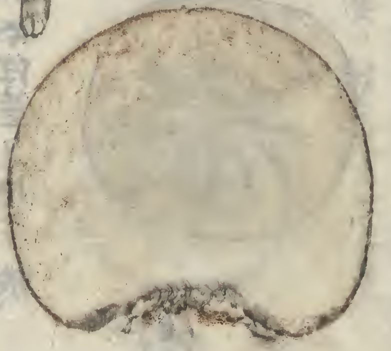
ごし

子房八

子核二







廿七年十月九日 豊橋ニテ

正ハチヤ

扁四形ニシテ八ノ縦溝アリ雖ド全形ハ

歪アリ外皮ハ黄色微赤ナレバ赤色ヲ帯ブ

肉部色淡ク微ニ紫褐細点ヲ認ムベク

子房ハ八

個アリ

子種ハ

三個乃

一ニ見ユ

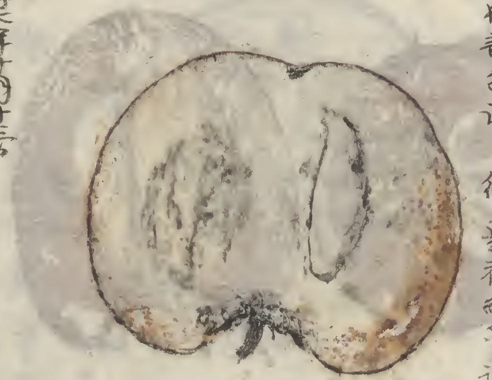
ヲ脱セバ

味ハ

淡甘最佳

甚ダ良シ

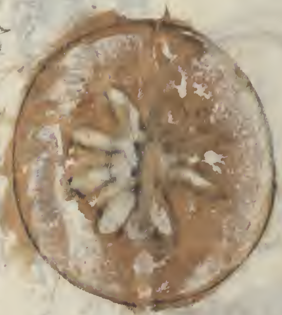
渋味ナシ

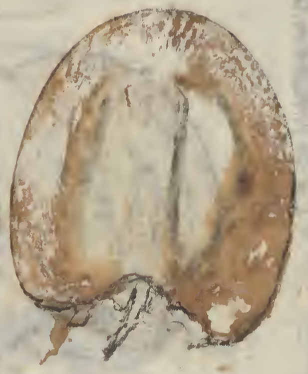


廿七年十月十二日

明石町ニテ 田中芳記

量甘柿
楕円形 外皮尚緑色ノ
部分ノ上部赭黄赤ナリ
内部ハ淡黄ノ白色ナルモハ
渋柿ノ看アリ
ニテ尚ホ渋ク食フニ
堪ヘズ
子房八ニテ核六個





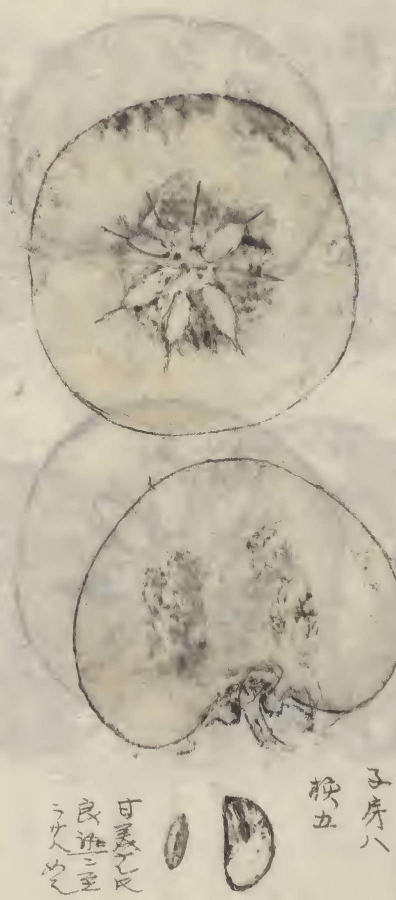
右ノ二品ハ甚ダ渋核ニテ渋ヲ抜テ食スルナリ
但シ渋ノ甚[illegible]

オタフク
扁円形 外皮黄色ナレドモ尚ホ熟スルニ至ラズ
堅実ナリ 内部ハ紫褐斑点満ツ 子房八ニテ核六個

内部ノ看ハ甘美ナルノ徴ナレドモ未ダ充分熟スルニ至ラザレバ味
ハ未ダ佳境ニ至ラザルガ如シ
東京ニテ之ヲ[illegible]ニ似タリ[illegible]

清所柳

扁円ニシテ隆起ス 外皮青黄色 肉印子程ノ辺
紫褐斑アリ
子房八
梗五

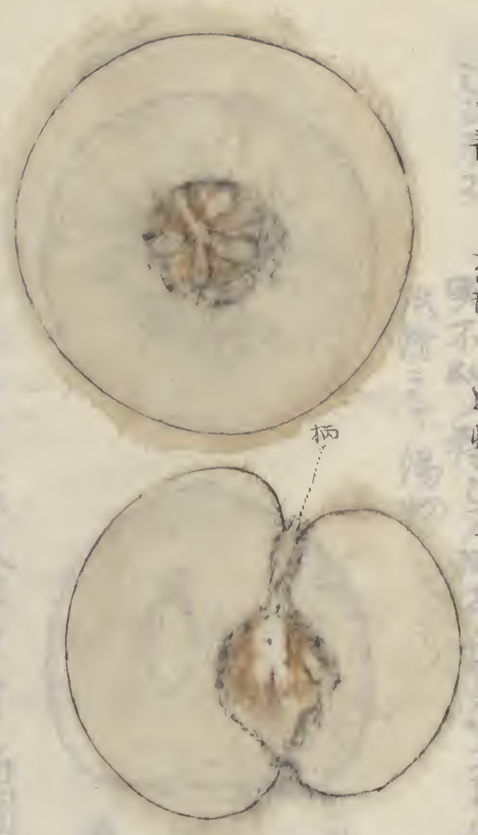


甘美ナレトモ
良熟ニ至
ラサル故也

秋果ハ常品ニ比シ形ノ隆起スル者多シテ甚 内部ノ色ハ何レモ子房ノ辺
紫褐色ナラス 余ノ常品ニ同シキ者 又子粒ノ形全ク異ナリ故ニ
真ノ清所トハ称スヘシ

白龍

偏形大ノ遺憾アルモ果ノ果実ノ見ルヘシ 其ノ他ノモノヲ見ルニ尚
佃斜
深キ



茶黄色 内褐斑アル者 味ハ淡泊ニシテ 白柿ト呼ブカ 子室十ナレドモ
子粒ハ一房中ニ各二ツアリテ小粒ナリ

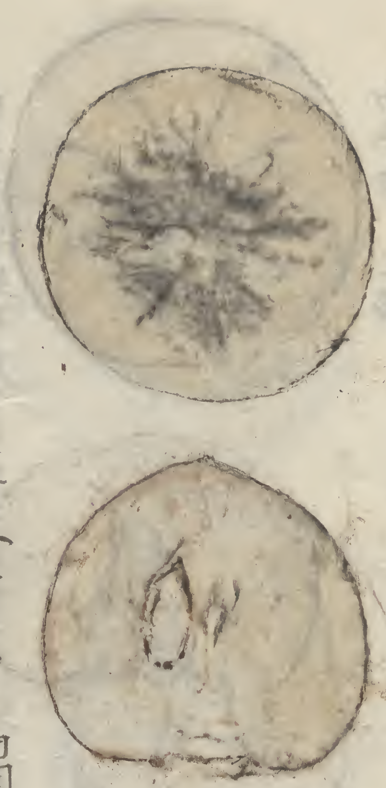
其年十月十三日滋賀中郷田男

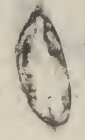
有年騰れ　一ツ一本

ミミラス

実不知ノ義ニテ種子ノナキヲ云フナルヘシ

流柿ニテ湯抜スルモノナリ

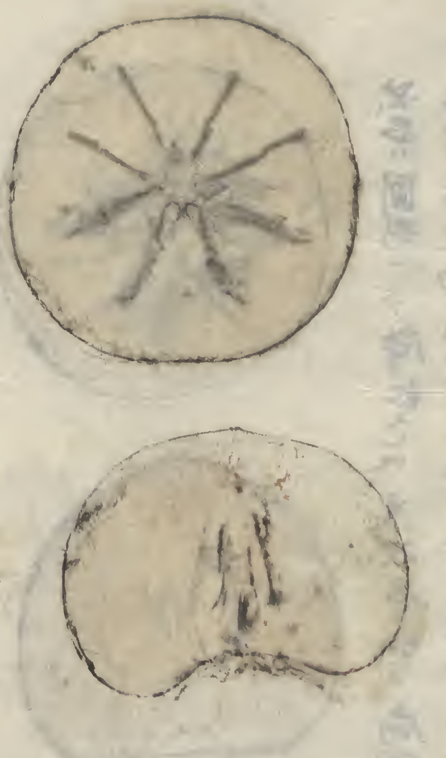




此品ハ唯一種ノ子核アリ其形長シ

此品ハ圓形ニシテ陸柿ニ似　又此品ノ如ク扁圓形ノモノアリ

外皮緑色尚存ス　或ハ稍黄赤ヲ帯ブルモノアリ



子形ナし 子房八個アリ 稀ニ発育セル小種子アリ

廣島市上こ町産

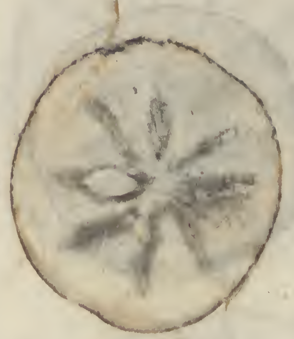
西条柿 二種

癸巳年十月十五夜 田芳記

渋抜ナレバ味甚甘美ナリ 此品子核ナキモ 次ノ品ハ一種アリ

又全形ハ 此葉ハ 楕円 上狭下潤ナレバ 次品ハ楕円形ニシテ

テ蔕尖頭ナルヲ
是ハ花トスル方ヲ示ス



鹽島市
味形柿

蔕方形ト蔕五方形トノ二品アリ外皮紅赤色
テ黄赤色尚深シ肉甲当渋蕃赤ニシテ核ノ

甲州柿
ノ如キニ
至ラザル
宮良酸
ノ蝋ニ似
八ノ数アル
大ナリ故
味尚渋ニシテ
甚佳ナリ

子房十二アリテ子相接シタルナリ

五方形ノ者是亦子房亮
子核無之

廣島
シヤウデンバラ

洽桝 外皮黄赤色 心臓形ニシテ鈍
尖ナス 子房八ツ核アリ

同前ノ葉　背ハ灰白色

廣島

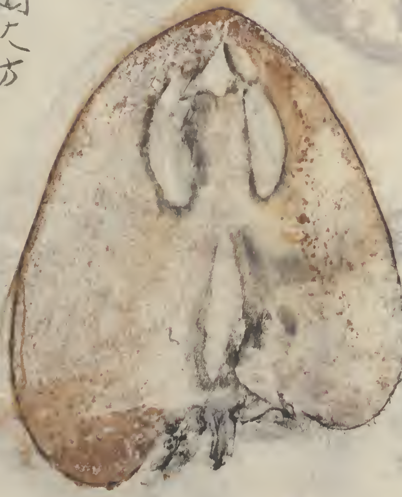
ギヲンバウ

心臓形ニシテ鈍方　本闊ク末狭シ

子房ハ上部ニ位シ
子核狭小ナリ稀ニ
発育セルノ小粒
アリ

鈍方形ニシテ闊
方ト狭キ方トハ甚
幅大ニ異リ

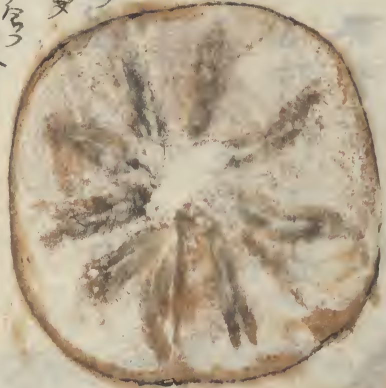
闊大方



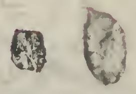
廣田ニ藥實等ノ名產多ハ男別ヨリ
移シ來ルモノニテ本郡家ノ先理長政君ノ
計畫ニ係ル長政君ハ甲府ニアリテ其ノ好ク
殖長ヲ圖リ後封ヲ安藝ニ移スニ
當リ又是種苗ヲ移シテ之ヲ植ヘタリトナリ

九七年十月十八日武井君ニ聞ク所記ス

其識之名ハ最
美味ナリ又蓋シ
三國ヒテ留ル是ハ
至ヒテ宜シキモ
又故ノ飲ヲ同フ
[illegible]上等ノ類ハ差支
八澤ハ法ヲ守リテ信ヲ
二[illegible]



挾キ方



其年十月十八日 田井記

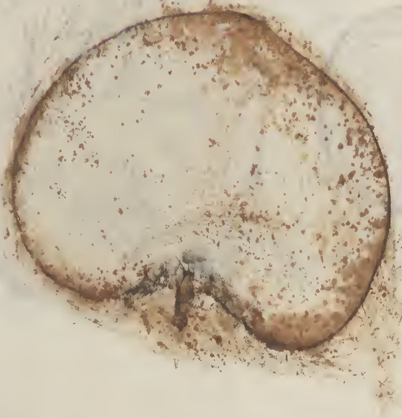
此菓一枝ニテ尤ノ也

下總成田町於 ヨソラク

形豊円ニ似テ尖頭アリ 熟シテ殷紅色トナリ食ス 味堅キ時ハ渋シ

二十二年十月十三日記

柿名



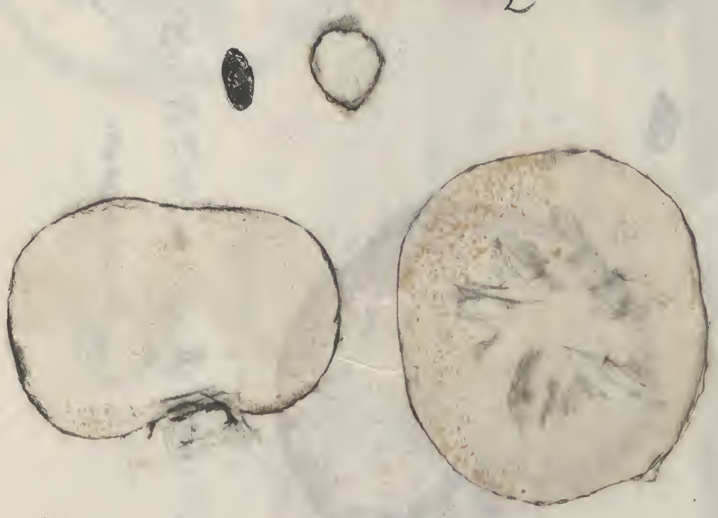
遠江 森町

ジンラウ

扁円八溝アリ 熟スレハ濃キ殷紅色トナル

肉部ニ黒斑ナシ 狹圓形稍稍厚シ

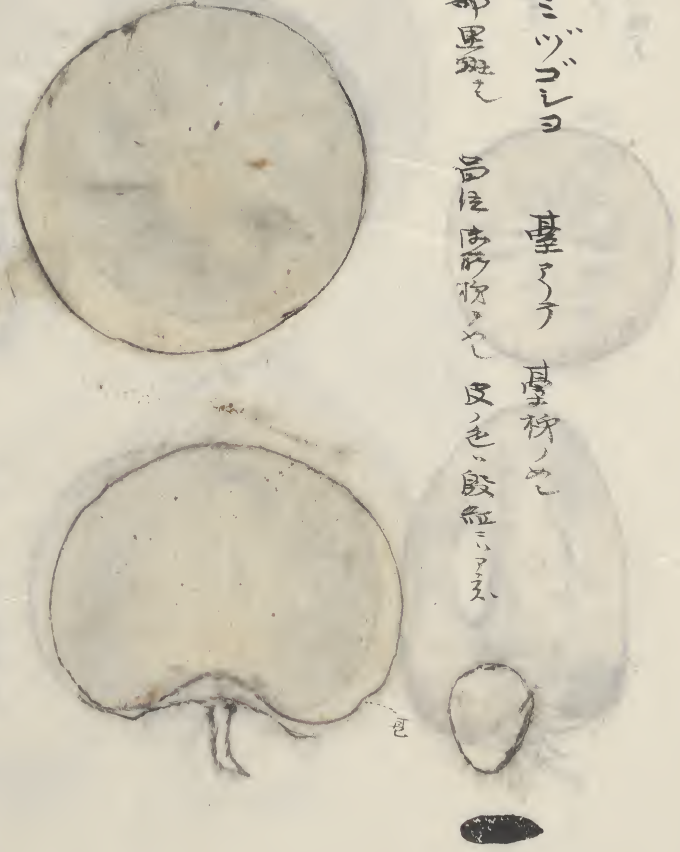
蔕形柿ノ類ニシテ 八王子柿ニ近シ



美濃

ミヅゴレヨ 臺アリテ 臺柿ノ如シ

内部黒斑ナシ 品位 蔕形柿ノ如シ 皮ノ色ハ殷紅ニハアラス



美濃　ミヽタケ

肉ノ印黒細斑多シ

外囲深赤色

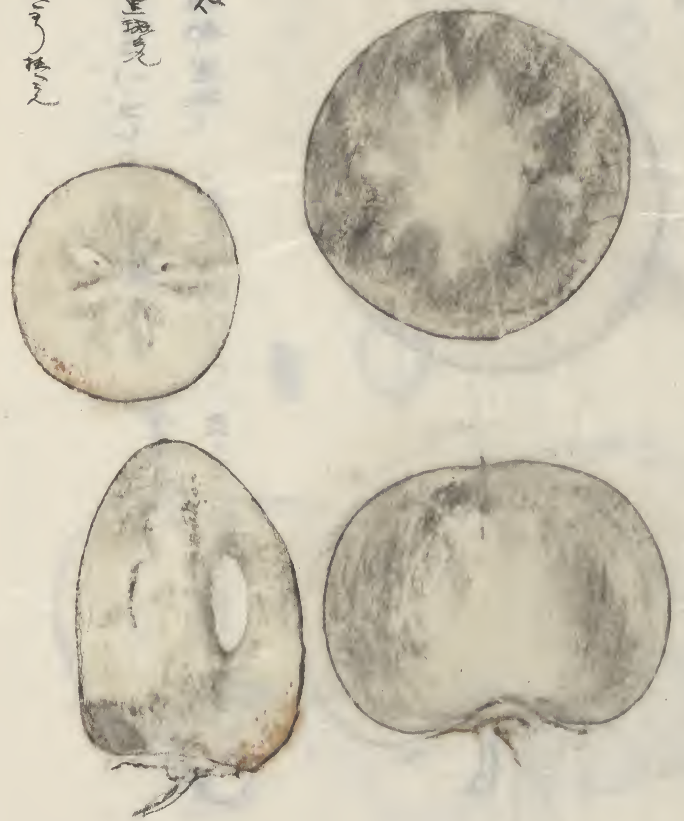
根ハ坂母ノ如シ

同　トキシラズ

又ノ一名 肉印黒斑多シ

甘味アリ 子種多シ

此柿ハ多ク結実スルヲ以テ植フヘシ

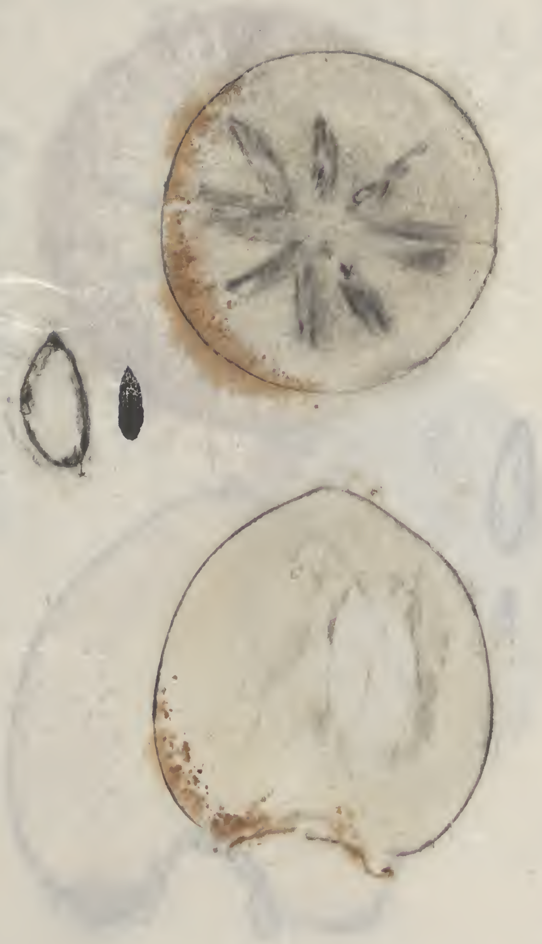


美濃　ダイリ

形 蜂屋ニ似タリ　甘柿

外皮黄赤色　肉ノ印黒斑多シ

稍渋味ヲ帯ブ



大分縣

大塚水産技手明治廿九年一月旧里ニ歸縣ノ節

持参ニ付寫生ス

大分縣

甚吉柿

目方五十匁ニテ味ハ

美味ナリ、シカシナガラ

岐阜縣下ノ山ノ上蜂屋柿

ヨリハ少シ劣ルナリ

廿九年一月廿二日

名古屋留置ニ

写之

美濃 つじ

蜂屋ニ結ブ果 形量大ハ十五匁位

黄赤色 上ノ中ニ

細點アリ

蜂屋柿ノ

紋アリ大

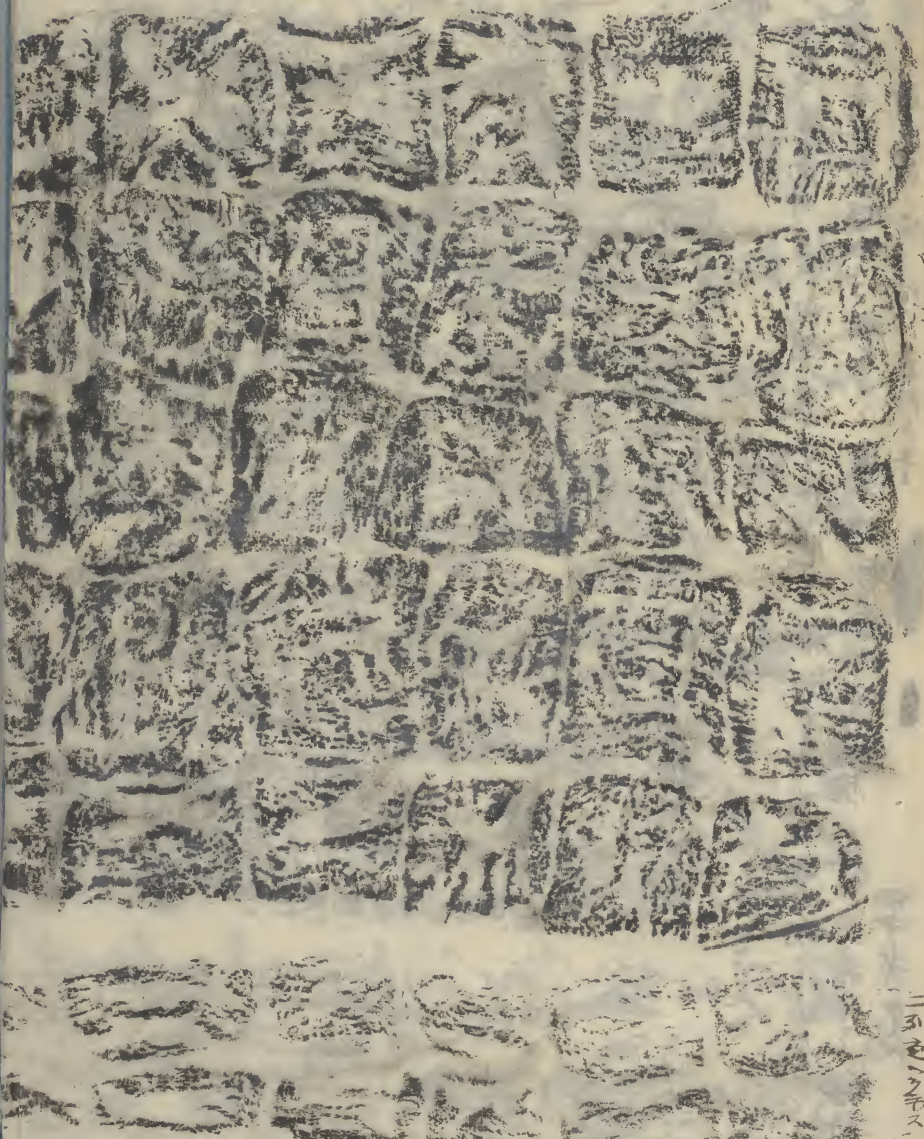
肉ノ中ニ

黒斑アリ

核ノ長形

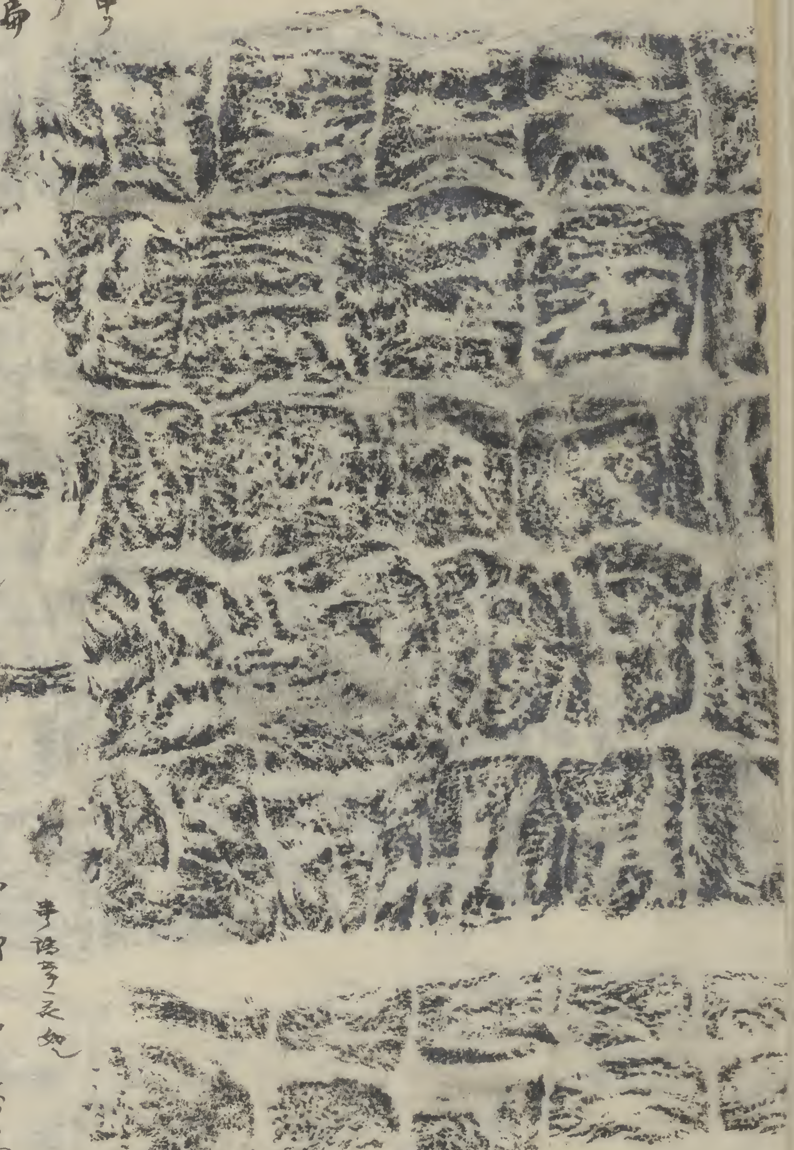
朝鮮　串柿

明治廿二年二月
明摩附属青要云
模写ノ価ニヨル
一串ニ十個ヲ貫ヌ
キ、五本一並ヘトシ
ミヲ二並ヘ合之ニ組
タル箱ニ形作ル
モノナリ　之ヲ離シ
タル内部ニ横ニ
並ヘタ串三拾本ヲ
列子ヲ両列ノ中間ヲ
通シリ是ハ柄ニテヨ
互ニ密着セシメシ
モノ、如クシテ或ハ
串ヲ挿ス者タニ入ヘ
モノナルカ



[illegible]

外部ヨリ見レハ栅ニハ
一本ノ串ヲ貫クカ
如キモ内部ニハ二本
串ノ者ナアリ
此串ハ内面ニ接スルモ
モノ時因修復伝小栅
信ノ太サニテ内部ハ
色アリ此串ノ内ヲ大ハ
打砕キ明ナラス未無
是ハ前後ヲ成シテ
先ヅ一ノ二テ [illegible]
方ハ中心ニ入リテヲ
又互ニ栅ス之ハ
一 [illegible]
栅ハ幕部ヨリ串ヲ
入レ敢ヘ出シ出ノリ
是ノ析彩精節
十八二ヨリテ出ル力 文部ヨリ垂レ露形トナル 取栅（日向即栅ニ同シ）モ朝鮮ヨリ十三フ 亜ラ栅ノ外部ニ見ユル白
粉アリテ甘味アリ内部ヲ之ハ [illegible] 奴ヲ [illegible] 気アリ 幕栅ノ味ヲ [illegible] 栅ハ外部ニ多ク粘附セリ様子ハ
一 果ニ五六個アリ [illegible] ノ核ヲ [illegible] 形ヲ示ス



事 [illegible] 如シ

田中芳男記

八王子町は旧地盤として状
種々の新る織信せられ市
場には金谷稀と唱へ年に幾多の
米石は製造に至る粗
として一見異なる処への蚕
詳にも其の味を許すに隣人と
雲泥の差ありて従て
価格は市場の高常に之
低位の高価を保つ
金谷織は数多年来栽
植し来りて一の記録なく
且未だ見受けず、主に
縣内の周囲に勢立

請求の氏名を記録して
所有者、
以て周囲の事項の大
要を述べ申し候
候
産地の事情　神奈川県北多摩郡
字金谷を有る製場を
隔る六里余の山間部にして
其四面高山を以て包囲
し頗る深谷なくも高
地の割に其附近に比し暖
気を受くる其附近より

様ハ多ク六方ノ白キ[illegible]大形
ノ目ノ(□一母樹トシ)ハ少ナシ
トシテ大サハ普通ナル[illegible]
十分時ノ内白キ日[illegible]味ハ
殆ド到達ノ上ニ試食
ハ批評ヲ讓リテ売ス
本年ハ前ノ便ヨリテ
四ツ二三回ノ暴風ニ遭ヒ
結果少ナキノミナラズ
顆粒モ平年ヨリ小ナリト
申シテ従テ味モ亦劣ル
ト思ハルヽ様[illegible]

一ヶ所ニ五十本ノ母本[illegible]
存シ其種類ハ不明ナリシ
ニテ其ノ種類ハ「シデーレン」ト唱ヘ
他ノ村落ニハ含谷種類ハ
「シデーレン」ト唱ヘ(外ニ)株ヲ残
リノモノ(不題シ)ヲ親ト見ツ
ニ試験セシ十本ニ付キ種
ヲ分ケ到底其ノ果ナシヤ
等初見タル種類トナリ
当セシ即チ形状ハ扁形ニシ
テハ溝アリ稍中ニ溝ハ稍
深ク高サモ少シク方形ヲ
現ハシ頂ハ又少シク凹ミ

のものヲ就テ先六七張を
斟酌シ□紙ノ草模
[illegible]
[illegible]
[illegible]
十二月
謹言
田中芳男様
[illegible]
[illegible]

柿 十図
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

伊勢山田神苑會農業館
田中芳男殿
貴酬

佐賀縣農事試驗場
[illegible]田 [illegible]

東京大学総合図書館

糊

一月四日

39.1.7

肥前國佐賀縣神埼郡
[illegible]村實光寺住職
筒井實道

糊

東京大学総合図書館

東京市本郷區金助町
七拾弐番地
田中芳男殿

東京大学総合図書館

朶雲拝誦、陳ハ今度ハ御地農事試験場ニ而第四回草木之御展覧有之
干柿百顆ヲ早速右品送致下拝掛候段々くしき故御頼し候謝候也
ニ有之、此品ハ先日掛合候得共、同様之品ニ付右ハ御承知置被下度候、尤其品質ハ佳品ニ候
右干柿代金壱円参拾銭ハ為替ニ而差上候間、御落手可被下候、右御報旁
御礼申上度、早々如此御座候、乍序御令兄様ヘ宜敷御伝声可被下候
右御礼旁御答迄如此御座候也

明治九年一月16

田中芳男

筒井実殿

尚記 益御清穆奉賀
候

却説 佐野君遺墨御頒布
萬田御買入より御依頼ニ
於而小子ニ擔当致別封
送のとして 百箇出来申
上候 右之品は 昨秋の暴
風にて樹上より落て被害候
次第 御贈呈ニ付 數量
不堪ニ一両日を要す 其の値
金壱円より
代價御贈呈 御賣上ニ比し
不知手数なる事出来候や 御賛
成ハ可申候得は此段申上度 手筈
ニ候 以右 方々へ
書面を以テ御報申上候

封筒内資料　東京大学総合図書館

不堪ハ無之と存候得共其段は
今日ニ至り候
代價之儀ハ御前ニ比し
不相替少々なから御座候ハヽ修覧
致し方無之ハ追て書状を以て
ニ御座候何卒御承知被下度
此段御願申上候

佐賀縣佐賀郡北川副村大字倉石
高井寅造

田中右衛門殿

代價

一金壱圓参拾弐銭 倉石名産 干柿百箇代
一金拾五銭 箱代
一金五拾銭 小包料

計壱圓九拾五銭

二伸　同氏九條家ノ陪臣ニテ華族ノ出生ニ御座候明治
京都東福寺ニ罷出候ノ御事ニ
〆先已ニ甚陰禮相成申候義
之候哉重々珍重奉存候也

廿年二月十一夜　榎谷祐七

田中芳男様　玉机下

尚々陰塚再製名柿等著
柿也リ一昨メ種子ヲ蒔候得共
曾甚ノ結果ナキ故常ニ苦居
羅斗ヲ成生シ肥料ハ柿ニ
先年経験ノ義ニ而毎々六十
又横濱ニ而当年参考ニ相成
候間御承知奉願候

謹賀新年

舊年中ハ格別ノ御引立ヲ蒙リ奉萬謝候尚不相變
御眷顧ヲ奉希望候

過日聖路易萬国大博覧會ニ於テ授賞可相
成旨官報ヲ以テ御發表ノ通リ本邦出品中
弊舗出品

最高名誉大賞金牌受領

新規創製品

一柿ゼリー　巻柿　柿羊羹（柿錦羹）ニ對シ頭書ノ如ク最高
賞ヲ得候ハ實ニ廣分千萬ニシテ無上ノ光榮ニ御坐候是全ク平素御
高庇御愛顧ノ賜ト感泣至極ニ奉存候乍略儀紙上ニ御厚礼
申上候敬白

商號柏光堂
槌谷祐七
美濃國大垣俵町四十四

○去る[illegible]三重縣
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
ノ植木[illegible]感服[illegible]

美濃地東濃ノ多山ノ山

仕渺ヶ平場ノ撫擦中

嶮ニ伊吹山ノ嵩ニ目

種ノ滋撹之我色澤

随分色好ノ方云ヶ一素

中西芳男様
御家族様

譽入申候懇切ニ及

不取敢右厚禮迄

東京大学総合図書館